

別添資料-3

ドラッグコスモス川田店 騒音予測評価報告書

目 次

第1章 目 的	1
第2章 概 要	1
1. 騒音発生源	1
第3章 騒音予測	3
1. 出店計画店舗の概要	3
2. 店舗周辺の住居等の立地条件	3
3. 予測地点の選定	3
4. 騒音発生源の配置	5
5. 予測項目	8
6. 予測方法	8
第4章 予測結果	11
1. 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル予測結果	11
2. 発生する騒音ごとの騒音レベル最大値予測結果	20

<メーカー提供騒音データ>

第1章 目的

大規模小売店舗立地法は、大規模小売店舗の立地に関して、出店に伴う交通混雑、騒音などその周辺地域の生活環境を保持するために適正な配慮を確保するよう求めている。

特に、配慮すべき環境項目の一つとして、「騒音」に関して騒音の予測・評価及び防止対策の実効を期待している。

このようなことから、「ドラッグコスモス川田店」の出店計画における大規模小売店舗立地法第5条第1項届出書作成に伴う騒音評価業務は、「大規模小売店舗立地法に関する届出の手引き」に基づき、店舗から発生する騒音の「総合的な予測・評価」及び「発生する騒音ごとの予測・評価」を行うことで、周辺地域の生活環境への影響を把握し、騒音防止に関連する法令の遵守と悪化防止の措置を講じるための資料とすることを目的とした。

第2章 概要

1. 騒音発生源

店舗から発生される騒音の予測・評価に必要な各種騒音発生源の騒音データは以下のとおりである。

(1) 定常騒音源

室外機等の設備機器から発生する騒音は、メーカー提供値及びカタログ値に示される「基準距離における騒音レベル」を引用し、一部データが無いものについては、実測値を用いる（表2-1参照）。

(2) 変動騒音源

敷地内における自動車走行に関する騒音は、「道路交通騒音の予測モデル“ASJ Model 2003”」文献値を用い、その他については、平成20年10月経済産業省商務情報政策局流通政策課「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き（第2版）」に示されている値を引用した（表2-2参照）。

(3) 衝撃騒音源

荷さばき作業に伴い発生する騒音は、既存類似店舗において発生源から基準距離（1m）で測定した値を用いる（表2-3参照）。

表 2-1 定常騒音源に関するデータ

単位：(dB・A)

名 称	型 式	能 力	騒音レベル	周波数成分 (Hz)						
				63	125	250	500	1000	2000	4000
室外機	ROA-RP1121H	圧縮機出力2.26kW	58.0	33.6	41.1	47.4	51.8	54.0	50.9	45.8
室外機	ROA-RP503HS	圧縮機出力0.92kW	47.0	27.6	30.1	40.9	41.3	42.0	37.4	30.8
室外機	ROA-RP1601H	圧縮機出力4.06kW	58.0	32.6	41.1	47.4	51.8	54.0	50.9	45.8
室外機	ROA-RP2243HS	圧縮機出力4.74kW	59.9	39.6	46.6	53.4	52.8	55.0	51.4	47.3
室外機	ROA-RP2803HS	圧縮機出力7.16kW	63.1	45.1	50.1	55.4	56.8	58.0	55.4	50.8
室外機	ROA-RP403HS	圧縮機出力0.73kW	50.0	30.1	34.1	45.4	42.8	44.5	40.4	34.3
室外機	ROA-RP563HS	圧縮機出力1.11kW	47.0	28.1	28.6	40.4	41.8	42.0	37.4	31.3
冷凍冷蔵庫屋外機	KX-NM20AMVP	圧縮機出力(4.2+9.0)kW	55.3	30.6	41.1	47.7	49.8	50.0	46.1	45.1
冷凍冷蔵庫屋外機	KX-R6AV1	圧縮機出力4.5kW	49.9	32.6	40.1	43.4	44.8	44.0	38.4	31.8
排気口	VP-354SNXB	出力0.15kW	53.5							
キュービクル	キュービクル a	—	52.2 *1	36.9	41.0	45.5	46.6	47.1	41.1	35.1

*1 既存類似店舗実測データ

表 2-2 変動騒音源に関するデータ

単位：(dB・A)

名 称	騒音発生時間及び 騒音発生回数	騒音レベル	周波数成分 (Hz)							
			63	125	250	500	1000	2000	4000	
来客車両走行音	1～2回/台	74.0 *2								
搬出入車両走行音	2回/台	88.0 *2								
廃棄物収集車両走行音	2回/台	88.0 *2								
搬出入車両後進警報ブザー音	20秒/台	90.0 *3							*1	
廃棄物収集車両後進警報ブザー音	20秒/台	90.0 *3							*1	
廃棄物収集作業音(圧縮)	200秒/台	90.0 *3					*1			
廃棄物収集作業音(非圧縮)	90秒/台	85.0 *3					*1			
搬出入車両アイドリング音	1,200秒/台	78.6 *3								
台車走行音	6秒×6回/台	71.0 *3							*1	
台車走行音	6秒×6回/台	77.0 *4							*1	

*1 卓越周波数を示す。

*2 ASJ Model 2003 計算根拠

①来客車両走行音

タイヤの半径やギヤ比など自動車に関する既存の研究結果から得られたもの(『自動車の走行パターンを考慮した道路交通騒音の予測-その1.自動車の走行パターンと発生騒音の推定(音響学会50)』より)を用い、自動車工学に基づくパワーレベル式(『ASJ Model 2003 付属資料-1 自動車走行音のパワーレベル』より)を用い算出すると、82dB(A特性音響パワーレベル)となる。82dBを半自由空間補正(-8dB(『騒音予測の手引き p-11より))し、74dBとなる。

②搬出入車両走行音・廃棄物収集車両走行音

タイヤの半径やギヤ比など自動車に関する既存の研究結果から得られたもの(『自動車の走行パターンを考慮した道路交通騒音の予測-その1.自動車の走行パターンと発生騒音の推定(音響学会50)』より)を用い、自動車工学に基づくパワーレベル式(『ASJ Model 2003 付属資料-1 自動車走行音のパワーレベル』より)を用い算出すると、96dB(A特性音響パワーレベル)となる。96dBを半自由空間補正(-8dB(『騒音予測の手引き p-11より))し、88dBとなる。

*3 騒音予測の手引き

*4 騒音レベル最大値を示す。

表 2-3 衝撃騒音源に関するデータ

単位：(dB・A)

名 称	騒音発生回数	*1 単発騒音 暴露レベル	周波数成分 (Hz)						
			63	125	250	500	1000	2000	4000
荷さばき作業に伴う荷下ろし音	10回/台	74.4	52.0	57.7	62.2	67.3	67.9	69.5	66.6
荷さばき作業に伴う荷下ろし音	10回/台	77.8 *2	51.8	58.5	66.0	70.3	70.4	73.8	70.1
搬出入車両荷台扉開音	1回/台	75.6	42.9	53.4	63.3	69.1	70.2	67.9	69.5
搬出入車両荷台扉開音	1回/台	78.3 *2	45.9	56.3	66.4	72.0	73.7	70.5	71.1
搬出入車両荷台扉閉音	1回/台	78.7	46.6	54.6	62.9	70.4	74.0	73.9	70.7
搬出入車両荷台扉閉音	1回/台	80.9 *2	48.5	56.9	65.7	72.7	76.2	75.9	72.8
搬出入車両座席扉開閉音	2回/台	79.6	54.3	62.6	70.1	73.7	74.6	72.5	69.2
搬出入車両座席扉開閉音	2回/台	81.4 *2	56.1	64.4	72.6	75.9	76.5	73.4	70.3
搬出入車両エンジン始動音	1回/台	78.8	52.5	58.7	61.5	68.0	73.8	74.0	72.6
搬出入車両エンジン始動音	1回/台	81.1 *2	55.2	61.6	67.3	72.6	75.8	75.9	74.3

*1 既存類似店舗実測データ

*2 騒音レベル最大値を示す。

第3章 騒音予測

出店計画店舗から発生される騒音が店舗周辺の予測地点に与える影響を予測する方法は、「大規模小売店舗から発生する騒音の予測の手引き（第2版）」（平成20年10月経済産業省）、「騒音予測に係るケーススタディ」（平成13年2月経済産業省商務情報政策局流通産業課）及び「大規模小売店舗から発生する騒音の予測・評価について」（平成21年7月栃木県産業労働観光部経営支援課）に基づいて行った。

1. 出店計画店舗の概要

計画店舗の規模・営業時間等は、次のとおりである。

ドラッグコスモス川田店

所在地；宇都宮市川田町字二本杉 855 番 外

用途地域；準工業地域

店舗面積；1,307 m²

営業時間；9:00～22:00

駐車場収容台数；52 台

駐車場利用可能時間帯；8:30～22:30

荷さばき車両の受入時間帯；24 時間

廃棄物収集時間帯；8:00～18:00

設備機器の稼働時間帯；表3-3「騒音発生源一覧表」参照

2. 店舗周辺の住居等の立地条件

店舗周辺の住居等の配置状況を添付図面1「騒音予測地点位置図」に示す。店舗周辺の都市計画法上の用途地域は準工業地域、第1種住居地域及び第2種住居地域である。

店舗周辺の住居等の立地状況として、建物敷地北側には事業所が立地しており、東側には市道1820号線（道路幅員：8.0m）を挟みコンビニエンスストアが立地している。

また、建物敷地南側には市道2908号線（道路幅員：6.5m）を挟み事業所が立地しており、西側には集合住宅が立地している。

3. 予測地点の選定

出店計画店舗から発生する騒音について、平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測地点は、店舗の周囲4方向からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい地点に立地している住居等の屋外と選定した。

また、夜間に発生する騒音ごとの騒音レベル最大値の予測地点については、隣接する住居等への影響を考慮した高さにおける店舗の敷地境界上とした。（添付図面1「騒音予測地点位置図」参照）

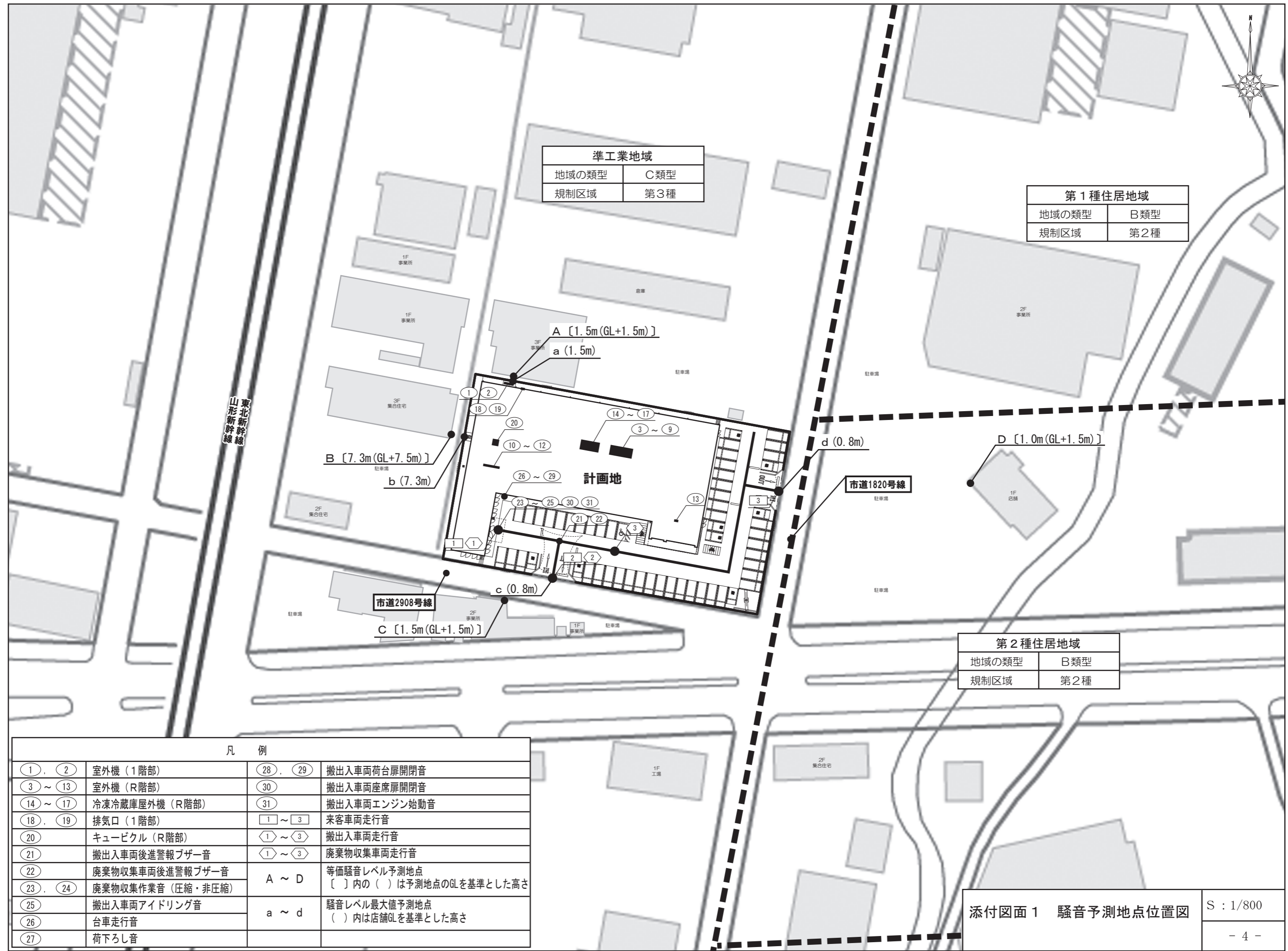
騒音発生源の配置位置と現況の住居等の立地状況を考慮して、予測地点の高さを0.8m～7.3mに設定するとともに、選定根拠を表3-1、3-2（後出 p-5）に示す。



準工業地域	
地域の類型	C類型
規制区域	第3種

第1種住居地域	
地域の類型	B類型
規制区域	第2種

第2種住居地域	
地域の類型	B類型
規制区域	第2種



東北新幹線
山形新幹線

凡 例			
①, ②	室外機 (1階部)	⑳, ㉑	搬出入車両荷台扉開閉音
③ ~ ⑬	室外機 (R階部)	⑳	搬出入車両座席扉開閉音
⑭ ~ ⑰	冷凍冷蔵庫屋外機 (R階部)	㉑	搬出入車両エンジン始動音
⑱, ㉒	排気口 (1階部)	① ~ ③	来客車両走行音
㉓	キュービクル (R階部)	① ~ ③	搬出入車両走行音
㉔	搬出入車両後進警報ブザー音	① ~ ③	廃棄物収集車両走行音
㉕	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	A ~ D	等価騒音レベル予測地点 〔 〕内の () は予測地点のGLを基準とした高さ
㉖, ㉗	廃棄物収集作業音 (圧縮・非圧縮)	a ~ d	騒音レベル最大値予測地点 () 内は店舗GLを基準とした高さ
㉘	搬出入車両アイドリング音		
㉙	台車走行音		
㉚	荷下ろし音		

表3-1 等価騒音レベル予測地点

予測地点	位 置	用 途 地 域	予 測 位 置(m)		
			X	Y	Z
A地点	建物敷地北側事業所敷地内	準工業地域	7.2	43.7	1.5
B地点	建物敷地西側集合住宅敷地内	準工業地域	-4.8	27.3	7.3
C地点	建物敷地南側事業所敷地内	準工業地域	14.9	-9.7	1.5
D地点	建物敷地東側コンビニエンスストア敷地内	第2種住居地域	119.1	38.5	1.0
【選定根拠】 A地点:建物北側に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けるとされる事業所敷地内とした。 B地点:建物屋上部に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けるとされる集合住宅敷地内とした。 C地点:駐車場出入口付近を走行する自動車走行音、荷さばき施設及び廃棄物等保管施設から発生する作業音の影響を最も受けるとされる事業所敷地内とした。 D地点:駐車場出入口付近を走行する来客車両走行音の影響を最も受けるとされるコンビニエンスストア敷地内とした。					

表3-2 騒音レベル最大値の予測地点

予測地点	位 置	用 途 地 域	予 測 位 置(m)		
			X	Y	Z
a地点	建物敷地北側境界上	準工業地域	7.2	42.5	1.5
b地点	建物敷地西側境界上	準工業地域	-1.8	27.3	7.3
c地点	建物敷地南側境界上	準工業地域	25.3	-2.3	0.8
d地点	建物敷地東側境界上	準工業地域	75.0	28.0	0.8
【選定根拠】 a地点:建物北側に設置され、夜間発生する設備機器の稼働音の影響を最も受けるとされる敷地境界線上とした。 b地点:建物屋上部に設置され、夜間発生する設備機器の稼働音の影響を最も受けるとされる敷地境界線上とした。 c地点:駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けるとされる敷地境界線上とした。 d地点:駐車場出入口付近を走行する帰宅車両走行音の影響を最も受けるとされる敷地境界線上とした。					

4. 騒音発生源の配置

店舗に配置される設備機器及び荷捌き作業等の店舗運営に伴い発生する音源の位置並びに騒音発生条件を表3-3「騒音発生源一覧表」に示す。

また、騒音源の平面的な位置関係を添付図面2「騒音発生源位置図」に示す。

表3-3 騒音発生源一覧表

番号	騒音発生源		騒音レベル等(dB)	※根拠	騒音発生時間及び騒音発生回数	位置※1			
	種類	形式				座標(m)			階
						X	Y	Z	
1	室外機1	ROA-RP1121H	58.0	※2	8:30~22:00	5.9	41.8	0.5	1階部
2	室外機2	ROA-RP1121H	58.0	※2	8:30~22:00	7.4	41.8	0.5	1階部
3	室外機3	ROA-RP503HS	47.0	※2	8:30~22:00	33.7	31.5	6.1	R階部
4	室外機4	ROA-RP1601H	58.0	※2	8:30~22:00	35.3	31.5	6.3	R階部
5	室外機5	ROA-RP1601H	58.0	※2	8:30~22:00	36.8	31.5	6.3	R階部
6	室外機6	ROA-RP2243HS	59.9	※2	8:30~22:00	38.3	31.5	6.6	R階部
7	室外機7	ROA-RP2803HS	63.1	※2	8:30~22:00	33.8	29.6	6.6	R階部
8	室外機8	ROA-RP2803HS	63.1	※2	8:30~22:00	35.3	29.7	6.6	R階部
9	室外機9	ROA-RP2803HS	63.1	※2	8:30~22:00	36.8	29.6	6.6	R階部
10	室外機10	ROA-RP2803HS	63.1	※2	8:30~22:00	4.5	21.5	6.7	R階部
11	室外機11	ROA-RP403HS	50.0	※2	8:30~22:00	6.0	21.5	6.2	R階部
12	室外機12	ROA-RP563HS	47.0	※2	8:30~22:00	7.5	21.5	6.2	R階部
13	室外機13	ROA-RP1601H	58.0	※2	8:30~22:00	52.1	16.7	6.7	R階部
14	冷凍冷蔵庫屋外機1	KX-NM20AMVP	55.3	※2	終日	27.1	31.3	7.5	R階部
15	冷凍冷蔵庫屋外機2	KX-NM20AMVP	55.3	※2	終日	27.1	29.7	7.5	R階部
16	冷凍冷蔵庫屋外機3	KX-R6AV1	49.9	※2	終日	30.1	31.4	7.4	R階部
17	冷凍冷蔵庫屋外機4	KX-R6AV1	49.9	※2	終日	30.1	29.7	7.4	R階部
18	排気口1	VP-354SNXB	53.5	※2	8:30~22:00	9.7	41.1	4.0	1階部
19	排気口2	VP-354SNXB	53.5	※2	8:30~22:00	10.5	41.1	4.0	1階部
20	キュービクル	キュービクルa	52.2	※3	終日	6.0	27.4	7.3	R階部
21	搬出入車両後進警報ブザー音		90.0	※4	昼2台×20秒	25.4	6.8	0.6	1階部
22	廃棄物収集車両後進警報ブザー音		90.0	※4	昼3台×20秒	25.4	6.8	0.6	1階部
23	廃棄物収集作業音(圧縮)		90.0	※4	昼3台×200秒	10.4	6.8	0.6	1階部
24	廃棄物収集作業音(非圧縮)		85.0	※4	昼3台×90秒	10.4	6.8	0.6	1階部
25	搬出入車両アイドリング音		78.6	※4	昼1台×1200秒	10.4	6.8	0.6	1階部
26	台車走行音		71.0	※4	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	10.4	14.9	0.0	1階部
			77.0※7	※4					
27	荷下ろし音		74.4	※5	昼2台×10回夜1台×10回	10.4	14.9	0.6	1階部
			77.8※7	※5					
28	搬出入車両荷台扉開音		75.6	※5	昼2台×1回夜1台×1回	10.4	14.9	1.5	1階部
			78.3※7	※5					
29	搬出入車両荷台扉閉音		78.7	※5	昼2台×1回夜1台×1回	10.4	14.9	1.5	1階部
			80.9※7	※5					
30	搬出入車両座席扉開閉音		79.6	※5	昼2台×2回夜1台×2回	10.4	6.8	1.5	1階部
			81.4※7	※5					
31	搬出入車両エンジン始動音		78.8	※5	昼1台×1回夜1台×1回	10.4	6.8	0.6	1階部
			81.1※7	※5					
来客車両走行音1			74.0	※6	昼998台×2回夜32台×1回	9.9	6.7	0.6	1階部
来客車両走行音2			74.0	※6	昼998台×2回夜32台×1回	25.3	-2.3	-0.1	1階部
来客車両走行音3			74.0	※6	昼998台×2回夜32台×1回	74.9	28.0	-0.1	1階部
搬出入車両走行音1			88.0	※6	昼2台×2回夜1台×2回	9.9	6.7	0.6	1階部
搬出入車両走行音2			88.0	※6	昼2台×2回夜1台×2回	25.3	-2.3	-0.1	1階部
搬出入車両走行音3			88.0	※6	昼2台×2回夜1台×2回	38.8	6.8	-0.1	1階部
廃棄物収集車両走行音1			88.0	※6	昼3台×2回	9.9	6.7	0.6	1階部
廃棄物収集車両走行音2			88.0	※6	昼3台×2回	25.3	-2.3	-0.1	1階部
廃棄物収集車両走行音3			88.0	※6	昼3台×2回	38.8	6.8	-0.1	1階部

※1 騒音源の位置及び座標の原点を添付図面2「騒音発生源位置図」に示す。

※2 メーカー提供データより

※3 既存類似店舗調査結果より(等価騒音レベル)

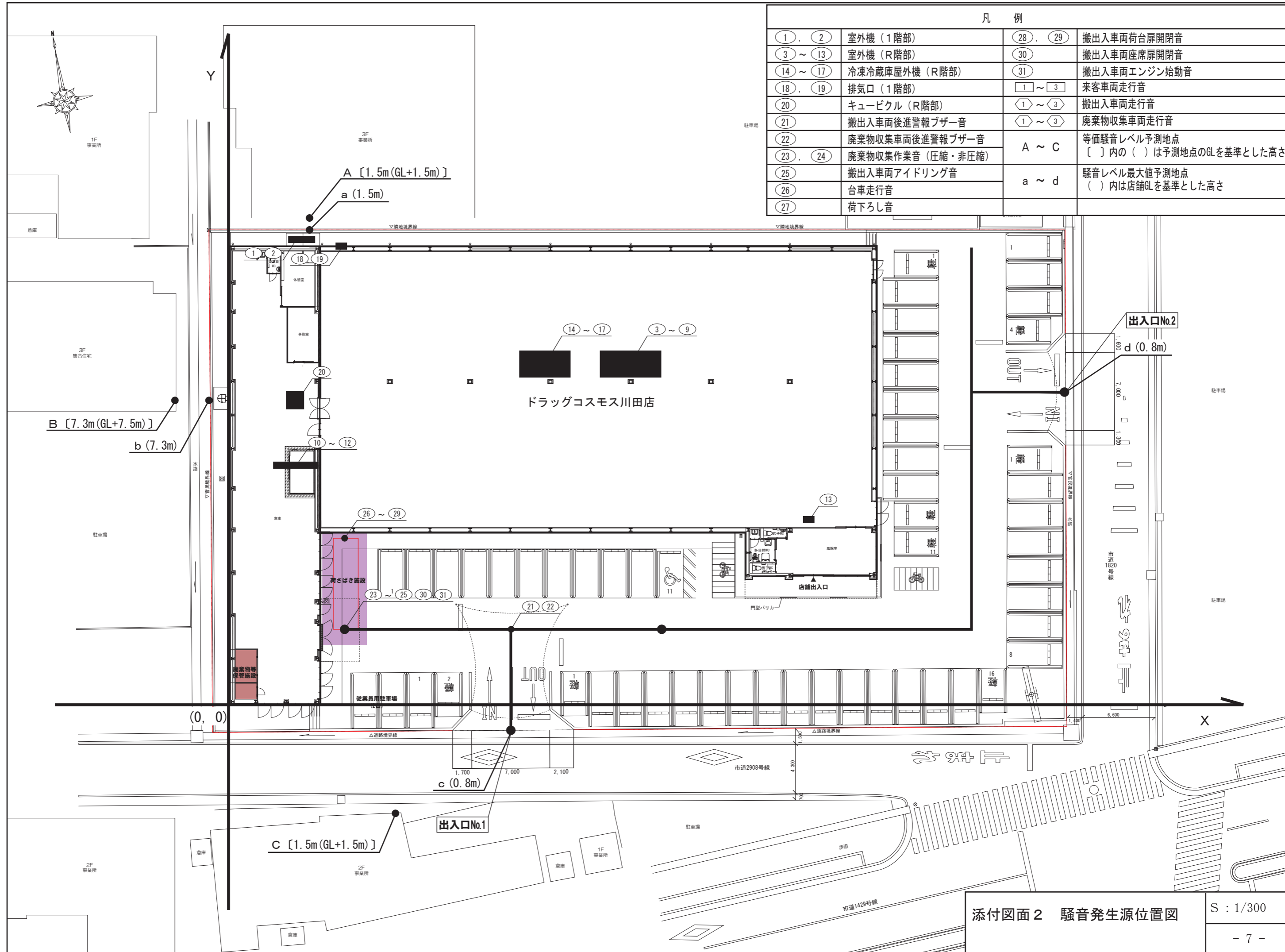
※4 騒音予測の手引きより

※5 既存類似店舗調査結果より(単発騒音暴露レベル)

※6 ASJ Model 2003より

※7 騒音レベル最大値を示す。

凡 例			
①, ②	室外機 (1階部)	②8, ②9	搬出入車両荷台扉開閉音
③ ~ ⑬	室外機 (R階部)	③0	搬出入車両座席扉開閉音
⑭ ~ ⑰	冷凍冷蔵庫屋外機 (R階部)	③1	搬出入車両エンジン始動音
⑱, ⑲	排気口 (1階部)	① ~ ③	来客車両走行音
⑳	キュービクル (R階部)	① ~ ③	搬出入車両走行音
㉑	搬出入車両後進警報ブザー音	① ~ ③	廃棄物収集車両走行音
㉒	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	A ~ C	等価騒音レベル予測地点 〔 〕内の () は予測地点のGLを基準とした高さ
㉓, ㉔	廃棄物収集作業音 (圧縮・非圧縮)		
㉕	搬出入車両アイドリング音	a ~ d	騒音レベル最大値予測地点 () 内は店舗GLを基準とした高さ
㉖	台車走行音		
㉗	荷下ろし音		



添付図面2 騒音発生源位置図 S : 1/300
- 7 -

5. 予測項目

- ①「昼間」の等価騒音レベル
- ②「夜間」の等価騒音レベル
- ③発生する騒音ごとの騒音レベル最大値

6. 予測方法

定常騒音、変動騒音及び衝撃騒音の算出方法は、「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き（第2版）」（平成20年10月経済産業省）4-1-2及び「大規模小売店舗から発生する騒音の予測・評価について」（平成21年7月栃木県産業労働観光部経営支援課）に基づいて行う。

(1) 等価騒音レベルの予測算式

①自動車走行音の騒音レベルの算出式

$$L_{pA,i} = L_{pA} + \Delta L_r + \Delta L_d + \Delta L_g$$

$L_{pA,i}$: 最近接点を通過する自動車による予測地点における騒音レベル(dB)

L_{pA} : 自動車走行音の基準距離における騒音レベル(dB)

ΔL_r : 最近接点を通過する自動車に対する距離減衰に関する補正量(dB)

ΔL_d : 最近接点を通過する自動車に対する障壁等による減音による補正量(dB)

ΔL_g : 最近接点を通過する自動車に対する地表面効果に関する補正量(dB)

②自動車走行音の単発騒音暴露レベルの算出式

$$L_{AE} = L_{pA} + \alpha$$

α : 補正值

最近接点から予測地点までの距離 $r \geq 10m$ の場合 6dB

最近接点から予測地点までの距離 $r < 10m$ の場合 3dB

L_{pA} : 最近接点を通過する自動車による予測地点における騒音レベル(dB)

③自動車走行音の等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T,vehicle} = 10 \log_{10} (N_T \times 10^{L_{AE}/10}) - 10 \log_{10} T$$

L_{AE} : 単発騒音暴露レベル

T : 対象とする基準時間帯の時間(s) (昼間は 57,600s、夜間 28,800s)

N_T : 時間 T (s) の間の交通量(台)

当該店舗における来客車両走行音の設定は、「栃木県における地域の基準に基づく駐車場の必要台数の計算式」から求められた日来店台数 998 台を全て「昼間」の発生回数とし、「夜間」の発生回数の設定については、既存系列店舗における休日の時間帯別入庫割合より、閉店時刻1時間前(午後9時～午後10時)に入庫する全ての車両が在庫するものとした(表3-4、表3-5参照)。

荷さばき作業及び廃棄物回収時に発生する業務用車両については、搬出入計画台数及び収集予定台数を発生回数とした。

表3-4 指針による日来店台数

事 項 等	各事項算出のための計算式等
地区の区分	← (理由: 準工業地域)
S: 店舗面積	1,307 千 m^2
A: 店舗面積当たり日接客数原単位	←人口40万人以上・1,400-40S (S<10)
α : 補正係数	←ホームセンター・総合スーパーに含まれないもの
C: 自動車分担率	←人口40万人以上100万人未満
D: 平均乗車人員	←店舗面積5千 m^2 未満
日来店台数	←S×A× α ×C÷D

表 3-5 時間帯別入庫台数 (休日)

	8:30~21:00	21:00~22:00	合計
入庫割合	96.8%	3.2%	100%
入庫台数	966台	32台	998台

④定常騒音の騒音レベルの算出式

$$L_{pA,i} = L_{pA,i}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{pA,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音レベル (dB)

$L_{pA,i}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における騒音レベル (dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量 (dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量 (dB)

⑤定常騒音の等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T,a} = 10 \log_{10} (1/T \times \sum 10^{L_{pA,i}/10} \times T_i)$$

$L_{Aeq,T,a}$: 定常騒音の等価騒音レベル (dB)

$L_{pA,i}$: i 番目の定常騒音源による予測地点における騒音レベル (dB)

T : 対象とする基準時間帯の時間 (s) (昼間は 57,600s、夜間 28,800s)

T_i : 対象とする時間区分における i 番目の定常騒音の継続時間 (s)

⑥変動騒音 (自動車走行音等除く) の騒音レベルの算出式

$$\overline{L_{pA,i}} = \overline{L_{pA,i}}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$\overline{L_{pA,i}}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音のエネルギー的な時間平均値 (dB)

$\overline{L_{pA,i}}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における騒音のエネルギー的な時間平均値 (dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量 (dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量 (dB)

⑦変動騒音 (自動車走行音除く) の等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T,b} = 10 \log_{10} (1/T \times \sum 10^{\overline{L_{pA,i}}/10} \times T_i)$$

$L_{Aeq,T,b}$: 変動騒音の等価騒音レベル (dB)

$\overline{L_{pA,i}}$: i 番目の変動騒音源による予測地点における騒音のエネルギー的な時間平均値 (dB)

T : 対象とする基準時間帯の時間 (s) (昼間は 57,600s、夜間 28,800s)

T_i : 対象とする時間区分における i 番目の変動騒音の継続時間 (s)

⑧衝撃騒音の単発騒音暴露レベルの算出式

$$L_{AE,i} = L_{AE,i}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{AE,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における単発騒音暴露レベル (dB)

$L_{AE,i}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における単発騒音暴露レベル (dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量 (dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量 (dB)

⑨衝撃騒音の等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T,c} = 10 \log_{10} (T_0/T \times \sum 10^{L_{AE,i}/10} \times N_i)$$

$L_{Aeq,T,c}$: 衝撃騒音の等価騒音レベル (dB)

$L_{AE,i}$: i 番目の衝撃騒音源からの騒音の単発騒音暴露レベル (dB)

T : 対象とする基準時間帯の時間 (s) (昼間は 57,600s、夜間 28,800s)

T_0 : 基準時間 (1s)

N_i : 対象とする基準時間帯において発生する i 番目の衝撃騒音の発生回数 (回)

⑩予測地点における等価騒音レベル

$$L_{Aeq,T} = 10 \log_{10} (10^{L_{Aeq,T,a}/10} + 10^{L_{Aeq,T,b}/10} + 10^{L_{Aeq,T,c}/10} + 10^{L_{Aeq,T,vehicle}/10})$$

$L_{Aeq,T,a}$: 定常騒音の等価騒音レベル (dB)

$L_{Aeq,T,b}$: 変動騒音の等価騒音レベル (dB)

$L_{Aeq,T,c}$: 衝撃騒音の等価騒音レベル (dB)

$L_{Aeq,T,vehicle}$: 自動車走行音の等価騒音レベル (dB)

(2) 騒音レベル最大値の予測算出式

①定常騒音の騒音レベルの算出式

$$L_{pA,i} = L_{pA,i}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{pA,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音レベル (dB)

$L_{pA,i}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における騒音レベル (dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量 (dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量 (dB)

②変動騒音、衝撃騒音及び自動車走行騒音の騒音レベル最大値の算出式

$$L_{Amax,i} = L_{Amax,i}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{Amax,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音レベル最大値 (dB)

$L_{Amax,i}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における騒音レベル最大値 (dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量 (dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量 (dB)

(3) 距離減衰に関する補正量の算出式

$$\Delta L_r = -20 \log_{10} r / r_0$$

ΔL_r : 距離減衰に関する補正量 (dB)

r_0 : 基準距離 (1 m)

r : 予測地点までの距離 (m)

(4) 回折効果に関する補正量の算出式

①回折効果（無限長障壁）に関する補正量の算出式（自動車走行音を除く）

$$\delta = A + B - d$$

A : 音源から壁の頂点までの距離 (m)

B : 壁の頂点から予測地点までの距離 (m)

d : 音源から予測地点までの直線距離 (m)

δ : 行路差 (m)

$$N = \delta f / 170$$

N : フレネル数

δ : 行路差 (m)

f : 周波数 (Hz)

$$\Delta L_d = \begin{cases} -10 \log_{10} N - 1.3 & 1 \leq N \\ -5 + 9.1 \sinh^{-1}(|N|^{0.485}) & -0.322 \leq N < 0 \\ -5 - 9.1 \sinh^{-1}(|N|^{0.485}) & 0 \leq N < 1 \\ 0 & N < -0.322 \end{cases}$$

ΔL_d : 回折効果に関する補正量 (dB)

※ 壁で得られる回折減衰量は 25dB を限度とする（公害防止の技術と法規 騒音編 p.95）

②自動車走行音の回折効果（無限長障壁）に関する補正量の算出式

$$\delta = A + B - d$$

A : 音源から壁の頂点までの距離 (m)

B : 壁の頂点から予測地点までの距離 (m)

d : 音源から予測地点までの直線距離 (m)

δ : 行路差 (m)

$$\Delta L_d = \begin{cases} -10 \log_{10} \delta - 2.0 & 1 \leq \delta \\ -5 + 1.7 \sinh^{-1}(|\delta|^{0.414}) & -0.053 \leq \delta < 0 \\ -5 - 1.7 \sinh^{-1}(|\delta|^{0.414}) & 0 \leq \delta < 1 \\ 0 & \delta < -0.053 \end{cases}$$

ΔL_d : 回折効果に関する補正量 (dB)

※ 壁で得られる回折減衰量は 25dB を限度とする（公害防止の技術と法規 騒音編 p.95）

第4章 予測結果

1. 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル予測結果

選定した予測地点は都市計画法用途地域の第2種住居地域及び準工業地域であり、騒音の評価基準である「騒音に係る環境基準(平成10年9月30日環境庁告示第64号)」における地域の類型はB及びC類型、環境基準値は「昼間」55及び60dB、「夜間」45及び50dBと定められている。

予測の結果、「昼間」及び「夜間」の等価騒音レベルは下表に示すとおり全ての地点で基準値を満足するものであり、出店計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された(表4-1参照)。

予測結果の内訳を表4-2～表4-5. 3 (p-12～p-19) に示す。

表4-1 等価騒音レベルの予測結果

時間区分		予測地点	高さ	用途地域	地域の類型	予測値 (dB)	基準値 (dB)
昼 間	6:00 ～	A	1.5m	準工業地域	C	53.8	60
		B	7.3m	準工業地域	C	47.2	
	22:00	C	1.5m	準工業地域	C	49.1	55
		D	1.0m	第2種住居地域	B	36.5	
夜 間	22:00 ～	A	1.5m	準工業地域	C	33.4	50
		B	7.3m	準工業地域	C	34.3	
	翌6:00	C	1.5m	準工業地域	C	33.8	45
		D	1.0m	第2種住居地域	B	23.0	

表4-2 A地点における等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源				基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)	騒音継続時間及び騒音発生回数	等価騒音レベル(dB)	
番号	機器名称	高さ	昼間							夜間	
定常騒音	1	室外機1	0.5	58.0	2.5	8.0	-	50.0	8:30~22:00	49.3	-
	2	室外機2	0.5	58.0	2.2	6.8	-	51.2	8:30~22:00	50.5	-
	3	室外機3	6.1	47.0	29.5	29.4	-	17.6	8:30~22:00	16.9	-
	4	室外機4	6.3	58.0	31.0	29.8	-	28.2	8:30~22:00	27.5	-
	5	室外機5	6.3	58.0	32.4	30.2	-	27.8	8:30~22:00	27.1	-
	6	室外機6	6.6	59.9	33.8	30.6	-	29.3	8:30~22:00	28.6	-
	7	室外機7	6.6	63.1	30.5	29.7	-	33.4	8:30~22:00	32.7	-
	8	室外機8	6.6	63.1	31.8	30.0	-	33.1	8:30~22:00	32.4	-
	9	室外機9	6.6	63.1	33.2	30.4	-	32.7	8:30~22:00	32.0	-
	10	室外機10	6.7	63.1	23.0	27.2	-	35.9	8:30~22:00	35.2	-
	11	室外機11	6.2	50.0	22.7	27.1	-	22.9	8:30~22:00	22.2	-
	12	室外機12	6.2	47.0	22.7	27.1	-	19.9	8:30~22:00	19.2	-
	13	室外機13	6.7	58.0	52.7	34.4	-	23.6	8:30~22:00	22.9	-
	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.5	55.3	24.2	27.7	-	27.6	終日	27.6	27.6
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.5	55.3	25.1	28.0	-	27.3	終日	27.3	27.3
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.4	49.9	26.7	28.5	-	21.4	終日	21.4	21.4
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.4	49.9	27.5	28.8	-	21.1	終日	21.1	21.1
	18	排気口1	4.0	53.5	4.4	12.9	-	40.6	8:30~22:00	39.9	-
	19	排気口2	4.0	53.5	4.9	13.8	-	39.7	8:30~22:00	39.0	-
	20	キュービクル	7.3	52.2	17.3	24.8	-	27.4	終日	27.4	27.4
	定常騒音の等価騒音レベル									53.6	32.9
変動騒音	21	搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	41.2	32.3	-	57.7	昼2台×20秒	26.1	-
	22	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	41.2	32.3	-	57.7	昼3台×20秒	27.9	-
	23	廃棄物収集作業音(圧縮)	0.6	90.0	37.0	31.4	-	58.6	昼3台×200秒	38.8	-
	24	廃棄物収集作業音(非圧縮)	0.6	85.0	37.0	31.4	-	53.6	昼3台×90秒	30.3	-
	25	搬出入車両アイドリング音	0.6	78.6	37.0	31.4	-	47.2	昼1台×1200秒	30.4	-
	26	台車走行音	0.0	71.0	29.0	29.2	-	41.8	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	12.8	12.8
	変動騒音の等価騒音レベル									40.3	12.8
衝撃騒音	27	荷下ろし音	0.6	74.4	29.0	29.2	-	45.2	昼2台×10回夜1台×10回	10.6	10.6
	28	搬出入車両荷台扉開音	1.5	75.6	29.0	29.2	-	46.4	昼2台×1回夜1台×1回	1.8	1.8
	29	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	78.7	29.0	29.2	-	49.5	昼2台×1回夜1台×1回	4.9	4.9
	30	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	79.6	37.0	31.4	-	48.2	昼2台×2回夜1台×2回	6.6	6.6
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	78.8	37.0	31.4	-	47.4	昼1台×1回夜1台×1回	-0.2	2.8
	衝撃騒音の等価騒音レベル									13.3	13.5
	※	来客車両走行音1	0.6	74.0	37.1	31.4	-	42.6	昼998台×2回夜32台×1回	34.0	19.1
	※	搬出入車両走行音1	0.6	88.0	37.1	31.4	-	56.6	昼2台×2回夜1台×2回	21.0	21.0
	※	廃棄物収集車両走行音1	0.6	88.0	37.1	31.4	-	56.6	昼3台×2回	22.8	-
	自動車走行騒音の等価騒音レベル									34.5	23.2
	等価騒音レベル									53.8	33.4
	基準値									60	50

※ 自動車走行音(来客車両、搬出入車両、廃棄物収集車両)の計算の詳細を表4-2.1~表4-2.3に示す。

表4-2.1 A地点における来客車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
1	74.0	37.1	31.4	—	42.6	6	48.6	1996	32	34.0	19.1

表4-2.2 A地点における搬出入車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
1	88.0	37.1	31.4	—	56.6	6	62.6	4	2	21.0	21.0

表4-2.3 A地点における廃棄物収集車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
1	88.0	37.1	31.4	—	56.6	6	62.6	6	0	22.8	—

※ 敷地内走行速度は20km/hとする。

表4-3 B地点における等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源				基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)	騒音継続時間及び騒音発生回数	等価騒音レベル(dB)	
番号	機器名称	高さ	昼間							夜間	
定常騒音	1	室外機1	0.5	58.0	19.3	25.7	-	32.3	8:30~22:00	31.6	-
	2	室外機2	0.5	58.0	20.1	26.1	-	31.9	8:30~22:00	31.2	-
	3	室外機3	6.1	47.0	38.7	31.8	-	15.2	8:30~22:00	14.5	-
	4	室外機4	6.3	58.0	40.3	32.1	-	25.9	8:30~22:00	25.2	-
	5	室外機5	6.3	58.0	41.8	32.4	-	25.6	8:30~22:00	24.9	-
	6	室外機6	6.6	59.9	43.3	32.7	-	27.2	8:30~22:00	26.5	-
	7	室外機7	6.6	63.1	38.7	31.8	-	31.3	8:30~22:00	30.6	-
	8	室外機8	6.6	63.1	40.2	32.1	-	31.0	8:30~22:00	30.3	-
	9	室外機9	6.6	63.1	41.7	32.4	-	30.7	8:30~22:00	30.0	-
	10	室外機10	6.7	63.1	11.0	20.8	-	42.3	8:30~22:00	41.6	-
	11	室外機11	6.2	50.0	12.3	21.8	-	28.2	8:30~22:00	27.5	-
	12	室外機12	6.2	47.0	13.6	22.7	-	24.3	8:30~22:00	23.6	-
	13	室外機13	6.7	58.0	57.9	35.3	-	22.7	8:30~22:00	22.0	-
	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.5	55.3	32.2	30.2	-	25.1	終日	25.1	25.1
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.5	55.3	32.0	30.1	-	25.2	終日	25.2	25.2
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.4	49.9	35.1	30.9	-	19.0	終日	19.0	19.0
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.4	49.9	35.0	30.9	-	19.0	終日	19.0	19.0
	18	排気口1	4.0	53.5	20.3	26.1	-	27.4	8:30~22:00	26.7	-
	19	排気口2	4.0	53.5	20.9	26.4	-	27.1	8:30~22:00	26.4	-
	20	キュービクル	7.3	52.2	10.8	20.7	-	31.5	終日	31.5	31.5
	定常騒音の等価騒音レベル									44.1	33.5
変動騒音	21	搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	37.1	31.4	-	58.6	昼2台×20秒	27.0	-
	22	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	37.1	31.4	-	58.6	昼3台×20秒	28.8	-
	23	廃棄物収集作業音(圧縮)	0.6	90.0	26.4	28.4	-	61.6	昼3台×200秒	41.8	-
	24	廃棄物収集作業音(非圧縮)	0.6	85.0	26.4	28.4	-	56.6	昼3台×90秒	33.3	-
	25	搬出入車両アイドリング音	0.6	78.6	26.4	28.4	-	50.2	昼1台×1200秒	33.4	-
	26	台車走行音	0.0	71.0	20.9	26.4	-	44.6	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	15.6	15.6
	変動騒音の等価騒音レベル									43.2	15.6
衝撃騒音	27	荷下ろし音	0.6	74.4	20.7	26.3	-	48.1	昼2台×10回夜1台×10回	13.5	13.5
	28	搬出入車両荷台扉開音	1.5	75.6	20.5	26.2	-	49.4	昼2台×1回夜1台×1回	4.8	4.8
	29	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	78.7	20.5	26.2	-	52.5	昼2台×1回夜1台×1回	7.9	7.9
	30	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	79.6	26.2	28.4	-	51.2	昼2台×2回夜1台×2回	9.6	9.6
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	78.8	26.4	28.4	-	50.4	昼1台×1回夜1台×1回	2.8	5.8
	衝撃騒音の等価騒音レベル									16.3	16.5
	※	来客車両走行音1	0.6	74.0	26.2	28.4	-	45.6	昼998台×2回夜32台×1回	37.0	22.1
	※	搬出入車両走行音1	0.6	88.0	26.2	28.4	-	59.6	昼2台×2回夜1台×2回	24.0	24.0
	※	廃棄物収集車両走行音1	0.6	88.0	26.2	28.4	-	59.6	昼3台×2回	25.8	-
	自動車走行騒音の等価騒音レベル									37.5	26.2
	等価騒音レベル									47.2	34.3
	基準値									60	50

※ 自動車走行音(来客車両、搬出入車両、廃棄物収集車両)の計算の詳細を表4-3.1~表4-3.3に示す。

表4-3.1 B地点における来客車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
1	74.0	26.2	28.4	—	45.6	6	51.6	1996	32	37.0	22.1

表4-3.2 B地点における搬出入車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
1	88.0	26.2	28.4	—	59.6	6	65.6	4	2	24.0	24.0

表4-3.3 B地点における廃棄物収集車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
1	88.0	26.2	28.4	—	59.6	6	65.6	6	0	25.8	—

※ 敷地内走行速度は20km/hとする。

表4-4 C地点における等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源				基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)	騒音継続時間及び騒音発生回数	等価騒音レベル(dB)	
番号	機器名称	高さ	昼間							夜間	
定常騒音	1	室外機1	0.5	58.0	52.3	34.4	-	23.6	8:30~22:00	22.9	-
	2	室外機2	0.5	58.0	52.1	34.3	-	23.7	8:30~22:00	23.0	-
	3	室外機3	6.1	47.0	45.5	33.2	-	13.8	8:30~22:00	13.1	-
	4	室外機4	6.3	58.0	46.2	33.3	-	24.7	8:30~22:00	24.0	-
	5	室外機5	6.3	58.0	46.9	33.4	-	24.6	8:30~22:00	23.9	-
	6	室外機6	6.6	59.9	47.7	33.6	-	26.3	8:30~22:00	25.6	-
	7	室外機7	6.6	63.1	43.9	32.8	-	30.3	8:30~22:00	29.6	-
	8	室外機8	6.6	63.1	44.7	33.0	-	30.1	8:30~22:00	29.4	-
	9	室外機9	6.6	63.1	45.3	33.1	-	30.0	8:30~22:00	29.3	-
	10	室外機10	6.7	63.1	33.3	30.4	-	32.7	8:30~22:00	32.0	-
	11	室外機11	6.2	50.0	32.8	30.3	-	19.7	8:30~22:00	19.0	-
	12	室外機12	6.2	47.0	32.4	30.2	-	16.8	8:30~22:00	16.1	-
	13	室外機13	6.7	58.0	45.9	33.2	-	24.8	8:30~22:00	24.1	-
	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.5	55.3	43.2	32.7	-	22.6	終日	22.6	22.6
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.5	55.3	41.7	32.4	-	22.9	終日	22.9	22.9
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.4	49.9	44.2	32.9	-	17.0	終日	17.0	17.0
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.4	49.9	42.6	32.6	-	17.3	終日	17.3	17.3
	18	排気口1	4.0	53.5	51.1	34.2	-	19.3	8:30~22:00	18.6	-
	19	排気口2	4.0	53.5	51.1	34.2	-	19.3	8:30~22:00	18.6	-
	20	キュービクル	7.3	52.2	38.6	31.7	-	20.5	終日	20.5	20.5
	定常騒音の等価騒音レベル									38.2	27.7
変動騒音	21	搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	19.6	25.8	-	64.2	昼2台×20秒	32.6	-
	22	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	19.6	25.8	-	64.2	昼3台×20秒	34.4	-
	23	廃棄物収集作業音(圧縮)	0.6	90.0	17.1	24.7	-	65.3	昼3台×200秒	45.5	-
	24	廃棄物収集作業音(非圧縮)	0.6	85.0	17.1	24.7	-	60.3	昼3台×90秒	37.0	-
	25	搬出入車両アイドリング音	0.6	78.6	17.1	24.7	-	53.9	昼1台×1200秒	37.1	-
	26	台車走行音	0.0	71.0	25.1	28.0	-	43.0	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	14.0	14.0
	変動騒音の等価騒音レベル									47.0	14.0
衝撃騒音	27	荷下ろし音	0.6	74.4	25.0	28.0	-	46.4	昼2台×10回夜1台×10回	11.8	11.8
	28	搬出入車両荷台扉開音	1.5	75.6	25.0	28.0	-	47.6	昼2台×1回夜1台×1回	3.0	3.0
	29	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	78.7	25.0	28.0	-	50.7	昼2台×1回夜1台×1回	6.1	6.1
	30	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	79.6	17.1	24.7	-	54.9	昼2台×2回夜1台×2回	13.3	13.3
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	78.8	17.1	24.7	-	54.1	昼1台×1回夜1台×1回	6.5	9.5
	衝撃騒音の等価騒音レベル									16.7	17.1
※	来客車両走行音2	-0.1	74.0	12.9	22.2	-	51.8	昼998台×2回夜32台×1回	43.2	28.3	
※	搬出入車両走行音2	-0.1	88.0	12.9	22.2	-	65.8	昼2台×2回夜1台×2回	30.2	30.2	
※	廃棄物収集車両走行音2	-0.1	88.0	12.9	22.2	-	65.8	昼3台×2回	32.0	-	
	自動車走行騒音の等価騒音レベル									43.7	32.4
	等価騒音レベル									49.1	33.8
	基準値									60	50

※ 自動車走行音(来客車両、搬出入車両、廃棄物収集車両)の計算の詳細を表4-4.1~表4-4.3に示す。

表4-4.1 C地点における来客車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
2	74.0	12.9	22.2	—	51.8	6	57.8	1996	32	43.2	28.3

表4-4.2 C地点における搬出入車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
2	88.0	12.9	22.2	—	65.8	6	71.8	4	2	30.2	30.2

表4-4.3 C地点における廃棄物収集車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
2	88.0	12.9	22.2	—	65.8	6	71.8	6	0	32.0	—

※ 敷地内走行速度は20km/hとする。

表4-5 D地点における等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源				基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)	騒音継続時間及び騒音発生回数	等価騒音レベル(dB)	
番号	機器名称	高さ	昼間							夜間	
定常騒音	1	室外機1	0.5	58.0	113.2	41.1	-	16.9	8:30~22:00	16.2	-
	2	室外機2	0.5	58.0	111.7	41.0	-	17.0	8:30~22:00	16.3	-
	3	室外機3	6.1	47.0	85.8	38.7	-	8.3	8:30~22:00	7.6	-
	4	室外機4	6.3	58.0	84.3	38.5	-	19.5	8:30~22:00	18.8	-
	5	室外機5	6.3	58.0	82.8	38.4	-	19.6	8:30~22:00	18.9	-
	6	室外機6	6.6	59.9	81.3	38.2	-	21.7	8:30~22:00	21.0	-
	7	室外機7	6.6	63.1	85.9	38.7	-	24.4	8:30~22:00	23.7	-
	8	室外機8	6.6	63.1	84.4	38.5	-	24.6	8:30~22:00	23.9	-
	9	室外機9	6.6	63.1	83.0	38.4	-	24.7	8:30~22:00	24.0	-
	10	室外機10	6.7	63.1	116.0	41.3	-	21.8	8:30~22:00	21.1	-
	11	室外機11	6.2	50.0	114.5	41.2	-	8.8	8:30~22:00	8.1	-
	12	室外機12	6.2	47.0	113.0	41.1	-	5.9	8:30~22:00	5.2	-
	13	室外機13	6.7	58.0	70.7	37.0	-	21.0	8:30~22:00	20.3	-
	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.5	55.3	92.5	39.3	-	16.0	終日	16.0	16.0
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.5	55.3	92.6	39.3	-	16.0	終日	16.0	16.0
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.4	49.9	89.5	39.0	-	10.9	終日	10.9	10.9
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.4	49.9	89.7	39.1	-	10.8	終日	10.8	10.8
	18	排気口1	4.0	53.5	109.5	40.8	-	12.7	8:30~22:00	12.0	-
	19	排気口2	4.0	53.5	108.7	40.7	-	12.8	8:30~22:00	12.1	-
	20	キュービクル	7.3	52.2	113.8	41.1	-	11.1	終日	11.1	11.1
	定常騒音の等価騒音レベル									31.7	20.7
変動騒音	21	搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	98.9	39.9	-	50.1	昼2台×20秒	18.5	-
	22	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	98.9	39.9	-	50.1	昼3台×20秒	20.3	-
	23	廃棄物収集作業音(圧縮)	0.6	90.0	113.2	41.1	-	48.9	昼3台×200秒	29.1	-
	24	廃棄物収集作業音(非圧縮)	0.6	85.0	113.2	41.1	-	43.9	昼3台×90秒	20.6	-
	25	搬出入車両アイドリング音	0.6	78.6	113.2	41.1	-	37.5	昼1台×1200秒	20.7	-
	26	台車走行音	0.0	71.0	111.2	40.9	-	30.1	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	1.1	1.1
	変動騒音の等価騒音レベル									30.9	1.1
衝撃騒音	27	荷下ろし音	0.6	74.4	111.2	40.9	-	33.5	昼2台×10回夜1台×10回	-1.1	-1.1
	28	搬出入車両荷台扉開音	1.5	75.6	111.2	40.9	-	34.7	昼2台×1回夜1台×1回	-9.9	-9.9
	29	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	78.7	111.2	40.9	-	37.8	昼2台×1回夜1台×1回	-6.8	-6.8
	30	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	79.6	113.2	41.1	-	38.5	昼2台×2回夜1台×2回	-3.1	-3.1
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	78.8	113.2	41.1	-	37.7	昼1台×1回夜1台×1回	-9.9	-6.9
	衝撃騒音の等価騒音レベル									2.3	2.5
	※	来客車両走行音3	-0.1	74.0	45.4	33.1	-	40.9	昼998台×2回夜32台×1回	32.3	17.4
	※	搬出入車両走行音3	-0.1	88.0	86.3	38.7	-	49.3	昼2台×2回夜1台×2回	13.7	13.7
	※	廃棄物収集車両走行音3	-0.1	88.0	86.3	38.7	-	49.3	昼3台×2回	15.5	-
	自動車走行騒音の等価騒音レベル									32.4	18.9
	等価騒音レベル									36.5	23.0
	基準値									55	45

※ 自動車走行音(来客車両、搬出入車両、廃棄物収集車両)の計算の詳細を表4-5. 1~表4-5. 3に示す。

表4-5.1 D地点における来客車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
3	74.0	45.4	33.1	—	40.9	6	46.9	1996	32	32.3	17.4

表4-5.2 D地点における搬出入車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
3	88.0	86.3	38.7	—	49.3	6	55.3	4	2	13.7	13.7

表4-5.3 D地点における廃棄物収集車両走行音の予測結果

番号	基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	補正值	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
								昼間	夜間	昼間	夜間
3	88.0	86.3	38.7	—	49.3	6	55.3	6	0	15.5	—

※ 敷地内走行速度は20km/hとする。

2. 発生する騒音ごとの騒音レベル最大値予測結果

計画地の都市計画法用途地域は準工業地域であり、騒音の評価基準である騒音規制法における区域区分は第3種区域に指定され、規制基準値は50dBと定められている。

騒音レベル最大値を予測した結果、c及びd地点において自動車走行音及び荷さばき作業に伴い発生する騒音の影響により基準値を上回ることが予測されたが、建物敷地南側には事業所、東側には店舗が立地しており、住居等の生活環境がないことから、騒音の影響は少ないものと考えられる。

開店後、苦情等が発生した際には、発生源対策を含め誠意を持って対応いたします。

表4-6 a地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機器名称	高さ					
定常騒音	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.5	55.3	23.6	27.5	-	27.8
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.5	55.3	24.4	27.7	-	27.6
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.4	49.9	26.1	28.3	-	21.6
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.4	49.9	26.9	28.6	-	21.3
	20	キュービクル	7.3	52.2	16.2	24.2	-	28.0
変	26	台車走行音	0.0	77.0	27.8	28.9	25.0	23.1
衝撃騒音	27	荷下ろし音	0.6	77.8	27.8	28.9	25.0	23.9
	28	搬出入車両荷台扉開音	1.5	78.3	27.8	28.9	25.0	24.4
	29	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	80.9	27.8	28.9	25.0	27.0
	30	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	81.4	35.8	31.1	21.2	29.1
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	81.1	35.9	31.1	24.2	25.8
	※	来客車両走行音1	0.6	74.0	35.9	31.1	23.8	19.1
※	搬出入車両走行音1	0.6	88.0	35.9	31.1	23.8	33.1	
		基準値						50

変：変動騒音を示す。

表4-7 b地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機器名称	高さ					
定常騒音	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.5	55.3	29.2	29.3	-	26.0
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.5	55.3	29.0	29.2	-	26.1
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.4	49.9	32.2	30.2	-	19.7
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.4	49.9	32.0	30.1	-	19.8
	20	キュービクル	7.3	52.2	7.8	17.8	-	34.4
変	26	台車走行音	0.0	77.0	18.9	25.5	25.0	26.5
衝撃騒音	27	荷下ろし音	0.6	77.8	18.6	25.4	25.0	27.4
	28	搬出入車両荷台扉開音	1.5	78.3	18.3	25.2	25.0	28.1
	29	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	80.9	18.3	25.2	25.0	30.7
	30	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	81.4	24.6	27.8	20.7	32.9
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	81.1	24.8	27.9	23.7	29.5
	※	来客車両走行音1	0.6	74.0	24.6	27.8	24.0	22.2
※	搬出入車両走行音1	0.6	88.0	24.6	27.8	24.0	36.2	
		基準値						50

変：変動騒音を示す。

表4-8 c地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機器名称	高さ					
定常騒音	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.5	55.3	34.3	30.7	-	24.6
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.5	55.3	32.7	30.3	-	25.0
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.4	49.9	34.7	30.8	-	19.1
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.4	49.9	33.0	30.4	-	19.5
	20	キュービクル	7.3	52.2	36.0	31.1	-	21.1
変	26	台車走行音	0.0	77.0	22.8	27.2	-	49.8
衝撃騒音	27	荷下ろし音	0.6	77.8	22.8	27.2	-	50.6
	28	搬出入車両荷台扉開音	1.5	78.3	22.8	27.2	-	51.1
	29	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	80.9	22.8	27.2	-	53.7
	30	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	81.4	17.5	24.9	-	56.5
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	81.1	17.5	24.9	-	56.2
	※	来客車両走行音2	-0.1	74.0	0.9	-	-	74.0
※	搬出入車両走行音2	-0.1	88.0	0.9	-	-	88.0	
		基準値						50

変：変動騒音を示す。

表4-9 d地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機器名称	高さ					
定常騒音	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.5	55.3	48.5	33.7	-	21.6
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.5	55.3	48.4	33.7	-	21.6
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.4	49.9	45.5	33.2	-	16.7
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.4	49.9	45.4	33.1	-	16.8
	20	キュービクル	7.3	52.2	69.3	36.8	-	15.4
変	26	台車走行音	0.0	77.0	65.9	36.4	25.0	15.6
衝撃騒音	27	荷下ろし音	0.6	77.8	65.9	36.4	25.0	16.4
	28	搬出入車両荷台扉開音	1.5	78.3	65.9	36.4	25.0	16.9
	29	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	80.9	65.9	36.4	25.0	19.5
	30	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	81.4	68.0	36.7	18.1	26.6
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	81.1	68.0	36.7	20.9	23.5
	※	来客車両走行音3	-0.1	74.0	0.9	-	-	74.0
※	搬出入車両走行音3	-0.1	88.0	42.0	32.5	25.0	30.5	
		基準値						50

変：変動騒音を示す。

メーカー提供騒音データ

セット名称 RUEA11231M
 仕様表 (室内ユニット) AIU-RP1123H
 (室外機) ROA-RP1121H

天カセ
インバータ

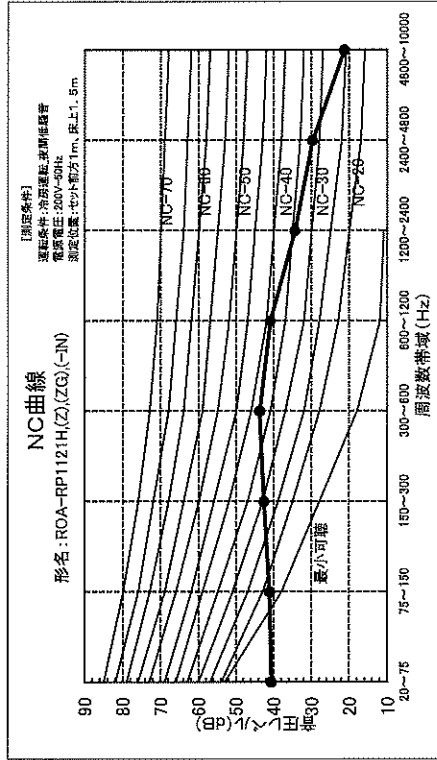
東芝パッケージエアコン (空冷インバータヒートポンプ式天井カセット形4方向吹出しタイプ) 【グリーン購入法適合】 (50/60Hz)

冷房性能 (注1)	定格冷房標準能力	kW	10.0 < 3.1 ~ 11.2 >	室 外	形 名		ROA-RP1121H			
	顕熱比	-	0.86		外 装		シルキーシェード(マンセル)Y8.5/0.5			
	定格冷房標準エネルギー消費効率	-	3.72 / 3.72		外形寸法	高 さ	mm	1,050		
	中間冷房標準能力	kW	4.6			幅	mm	1,010		
	中間冷房中温能力	kW	4.8			奥 行	mm	370		
	最小冷房中温能力	kW	3.6		総 質 量	kg	75			
	暖房性能 (注1)	定格暖房標準能力	kW		10.0 < 2.6 ~ 12.5 >	外	圧縮機	形 式	全密閉形	
		定格暖房標準エネルギー消費効率	-		4.59 / 4.59		圧縮機用電動機定格出力	kW	2.26	
		中間暖房標準能力	kW		4.6		種 数	4		
		最小暖房標準能力	kW		2.8		空気熱交換器	フィンチューブ		
	通年エネルギー消費効率 (注4)	最大暖房低温能力	kW		12.3	機	冷媒制御	(冷)	電子制御弁	
		APF2015 (JIS B 8616:2015)	-		6.2 / 6.2		(暖)	電子制御弁		
電気特性 (注1)	APF (JIS B 8616:2006)	-	6.0 / 6.0	機	送風装置	送風機	プロペラファン			
	冷暖平均エネルギー消費効率	-	4.16 / 4.16		標準風量	m³/min	86.7			
	電源 (注2)	電 源	三相 200V 50/60 Hz		電動機	kW	0.100			
		消費電力	冷房		定格冷房標準	kW	2.69 / 2.69	高圧スイッチ	MPa	-
			中間冷房標準		kW	0.724 / 0.724	低圧スイッチ	MPa	-	
			中間冷房中温		kW	0.648 / 0.648	保護装置		吐出温度センサー 過電流センサー 圧縮機サーモ	
	最小冷房中温		kW		0.460 / 0.460	ケースヒータ	W	-		
	暖房	定格暖房標準	kW		2.18 / 2.18	定格騒音(音響パワーレベル)	(冷) dB	73		
		中間暖房標準	kW		0.691 / 0.691	(注5) (暖) dB	74			
		最小暖房標準	kW		0.465 / 0.465	運転音(音圧レベル)	(冷) dB	57		
		最大暖房低温	kW		4.02 / 4.02	(注6) (暖) dB	58			
	運転電流	(冷) (暖)	A		8.26 / 8.26 6.69 / 6.69	IPコード	IPX4			
力 率	(冷) (暖)	%	21.2 / 21.2 94 / 94	法定冷凍トン	2.10					
始動電流	A	- / -	94 / 94	設計圧力	高圧部	MPa	4.15			
室内機 外形寸法	外形寸法	高 さ	mm	319	低圧部	MPa	2.21			
		幅	mm	840	冷媒・出荷時封入量	kg	R32・2.20			
		奥 行	mm	840	冷媒追加不要の最大実長	m	30			
	総 質 量	kg	25		冷媒追加量	g/m	35			
	送風装置	空気熱交換器	フィンチューブ		冷 媒 配 管	室外機・室内ユニット間	mm	ガス側: φ15.9 液側: φ9.5		
		防音・断熱材	発泡ポリスチレン			最大実長	m	50		
		送風機	ターボファン			最大落差	m	室外機が上の場合: 30 室外機が下の場合: 30		
		急/強+/強/弱+/弱	m³/min	37.5 / 31.0 / 27.5 / 20.0 / 17.5		漏電遮断器 (注8)	30A、30mA 0.1sec以下			
	送風装置	電動機	kW	0.130	手元開閉器	開閉器容量	A	30		
		エアフィルタ	天井パネルに付属		ヒューズ	A	30			
		運転調整装置	(注3)	リモコンスイッチ	配線用遮断器	A	30			
		ドレン口径 (呼び径)	25(塩ビ管)		電 源 配 線	線 径	電源線こう長(最大)			
定格騒音(音響パワーレベル)	(注5) dB(A)	61 / 55 / 54 / 52 / 46	単線1.6mm	- / -						
急/強+/強/弱+/弱			単線2.0mm	- / -						
運転音(音圧レベル)	(注6) dB(A)	48 / 43 / 41 / 37 / 32	燃線3.5mm²	- / -						
電熱装置	急/強+/強/弱+/弱			燃線5.5mm²	22 / 22					
	電熱装置	取付不可		燃線8.0mm²	33 / 33					
天井パネル	形 名	RBC-U41PG(W)(C)(N)(K)		燃線14.0mm²	58 / 58					
	外 装	(W):グランホワイト(マンセル)6PB9/1) (C):マースブラウン(マンセル)8.6YR6.7/3.4) (N):アポログレー(マンセル)4.5B6.5/0.5) (K):コスミックブラック(マンセル)N1)		燃線22.0mm²	91 / 91					
	外形寸法	高 さ	mm	30	燃線38.0mm²	- / -				
		幅	mm	950	連 室	室外機・室内ユニット間	75 mm以下	単線1.6mm X 3本		
奥 行		mm	950	線	リモコンコード (500mまで) VCTFO.5-2.0mm2 2芯 など					
(注3)	総 質 量	kg	5.0							

(注1) 冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616:2015による温度条件、基準配管《配管相当長7.5m(P40~P63形は5m)、落差0m》のときの値です。
 (注2) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。
 (注3) 天井パネル・リモコンスイッチは別売部品です。
 リモコンコード配線長は『リモコン外形図』を参照してください。
 (注4) 経済産業省告示213号「エアコンディショナーの性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」
 (通称:省エネ法基準値)における通年エネルギー消費効率は、「APF (JIS B 8616:2006)」が適用されます。
 (注5) 定格騒音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015に基づいた値です。
 (注6) 運転音(音圧レベル)は、JIS B 8616:2006に基づいた値です。
 (注7) 定格風量は「急」です。
 (注8) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には手元開閉器+ヒューズ、または配線用遮断器を設けてください。漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。

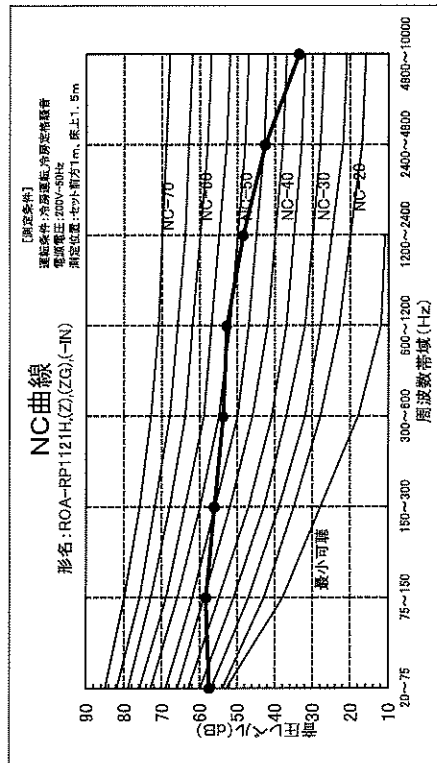
ROA-RP1121H(Z)(ZG)(-IN)

夜間低騒音モード	マイク位置 オーバーオール レベル(dB(A))	製品前方1m 床上1.5m 冷房 暖房	45 45
----------	--------------------------------	------------------------	-------



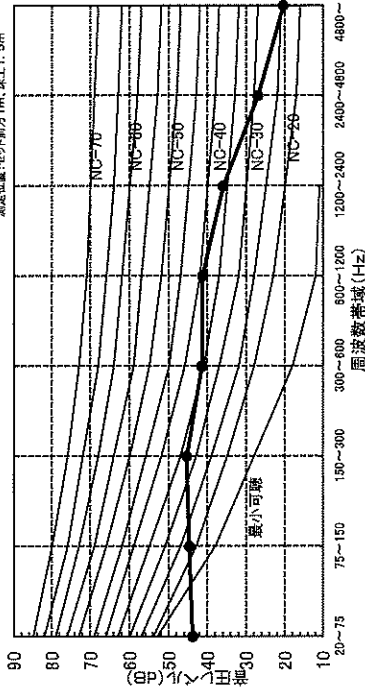
ROA-RP1121H(Z)(ZG)(-IN)

通常運転	マイク位置 オーバーオール レベル(dB(A))	製品前方1m 床上1.5m 冷房 暖房	57 58
------	--------------------------------	------------------------	-------



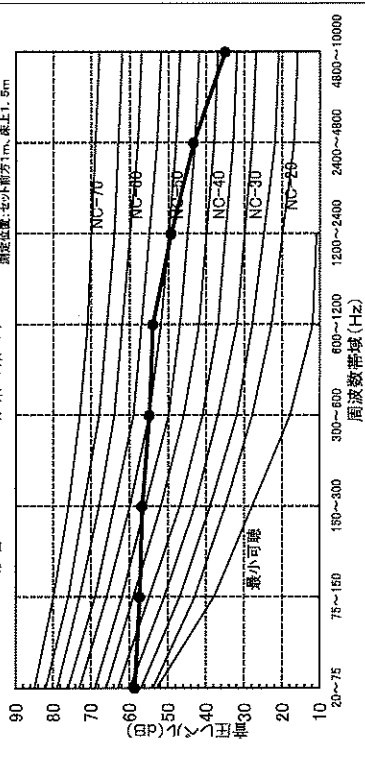
NC曲線

形名: ROA-RP1121H(Z)(ZG)(-IN)



NC曲線

形名: ROA-RP1121H(Z)(ZG)(-IN)



図面番号 TDT26C1953

適用機種

ROA-RP1121H(Z)(ZG)

ROA-RP1121H-IN

品名
東芝パッケージエアコン
騒音データ・NC曲線

東芝キヤリア株式会社

セット名称 RUSA05033M

仕様表 (室内ユニット) AIU-RP503H

(室外機) ROA-RP503HS

天カセ
インバータ

東芝パッケージエアコン

(空冷インバータヒートポンプ式天井カセット形4方向吹出しタイプ)

【グリーン購入法適合】

(50/60Hz)

冷房性能	定格冷房標準能力	kW	4.5 < 1.2 ~ 5.0 >	室	形名		ROA-RP503HS			
	顕熱比	-	0.80		外装		シルキーシェード(マンセル)Y8.5/0.5			
	定格冷房標準エネルギー消費効率	-	4.21		外形寸法	高さ	mm	550		
	中間冷房標準能力	kW	2.1			幅	mm	780		
	中間冷房中温能力	kW	2.2			奥行	mm	290		
	最小冷房中温能力	kW	1.5			総質量	kg	39		
	暖房性能	定格暖房標準能力	kW		5.0 < 0.9 ~ 7.6 >	外	形式		全密閉形	
		定格暖房標準エネルギー消費効率	-		4.76		圧縮機	圧縮機用電動機定格出力	kW	0.92
		中間暖房標準能力	kW		2.3		極数		6	
		最小暖房標準能力	kW		1.3		空気熱交換器		フィンドチューブ	
通年エネルギー消費効率	最大暖房低温能力	kW	5.8	冷媒制御	制御		電子制御弁 電子制御弁			
	APF2015 (JIS B 8616:2015)	-	6.9 / 6.9		送風装置	送風機	プロペラファン			
APF (JIS B 8616:2006)	-	6.1	標準風量	m ³ /min		36.7				
冷暖平均エネルギー消費効率	-	4.49 / 4.49	電動機	kW	0.043					
電気特性	電源	(注2)	三相 200V 50/60 Hz	機	高圧スイッチ	MPa	-			
	消費電力	冷房	定格冷房標準		kW	1.07 / 1.07	低圧スイッチ	MPa	-	
			中間冷房標準		kW	0.339 / 0.339	保護装置		吐出温度センサー 過電流センサー 圧縮機サーモ	
			中間冷房中温		kW	0.265 / 0.265	ケースヒータ	W	-	
		最小冷房中温	kW		0.158 / 0.158	定格騒音(音響パワーレベル)	(冷) dB	61		
		定格暖房標準	kW		1.05 / 1.05	(注5) (暖) dB	63			
		中間暖房標準	kW		0.353 / 0.353	運転音(音圧レベル)	(冷) dB	45		
	最小暖房標準	kW	0.192 / 0.192		(注6) (暖) dB	47				
	最大暖房低温	kW	1.99 / 1.99		IPコード	IPX4				
	運転電流	(冷) (暖)	A		3.36 / 3.36 3.29 / 3.29	法定冷凍トン	1.02			
力率	(冷) (暖)	%	92 / 92 92 / 92	設計圧力	高圧部	MPa	4.15			
始動電流	(冷) (暖)	A	- / -	低圧部	MPa	2.21				
室内機	形名	AIU-RP503H		冷媒配管	冷媒追加不要の最大実長	m	20			
	外装	シルバー(溶融亜鉛メッキ鋼板)			冷媒追加量	g/m	20			
	外形寸法	高さ	mm		256	室外機・室内ユニット間	mm	ガス側: φ12.7 液側: φ6.4		
		幅	mm		840	最大実長	m	50		
		奥行	mm		840	最大落差	m	室外機が上の場合: 30 室外機が下の場合: 30		
	総質量	kg	20		電源配線	漏電遮断器	(注8)	15A、30mA 0.1sec以下		
	空気熱交換器	フィンドチューブ				開閉器容量	A	15		
	防音・断熱材	発泡ポリスチレン				手元開閉器	A	10		
	送風装置	送風機	ターボファン			配線用遮断器	A	15		
		風量	(注7) m ³ /min			17.5 / 16.5 / 15.0 / 13.5 / 12.5	電	線径		
電動機	kW	0.060	単線1.6mm	19 / 19						
エアフィルタ	天井パネルに付属		単線2.0mm	31 / 31						
運転調整装置	(注3)	リモコンスイッチ		単線3.5mm ²		34 / 34				
ドレン口径(呼び径)	25(塩ビ管)		燃線5.5mm ²	54 / 54						
定格騒音(音響パワーレベル)	(注5) dB(A)	47 / 46 / 44 / 43 / 42		燃線8.0mm ²		- / -				
運転音(音圧レベル)	(注6) dB(A)	33 / 32 / 30 / 29 / 27		燃線14.0mm ²	- / -					
電熱装置	取付不可		燃線22.0mm ²	- / -						
天井パネル	形名	RBC-U41PG(W)(C)(N)(K)		燃線38.0mm ²	- / -					
	外装	(W):グランホワイト(マンセル)5PB9/1 (C):マースブラウン(マンセル)8.6YR6.7/3.4 (N):アポログレー(マンセル)4.5B6.5/0.5 (K):コスミックブラック(マンセル)N1)		連	室外機・室内ユニット間	70 m以下	単線1.6mm X 3本			
	外形寸法	高さ	mm	30	線	リモコンコード				
		幅	mm	950	(500mまで)			VCTF0.5-2.0mm2 2芯 など		
奥行	mm	950								
総質量	kg	5.0								

(注1) 冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616:2015による温度条件、基準配管《配管相当長7.5m(P40~P63形は5m)、落差0m》のときの値です。く)内は能力範囲を示します。

(注2) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。

(注3) 天井パネル・リモコンスイッチは別売部品です。リモコンコード配線長は『リモコン外形図』を参照してください。

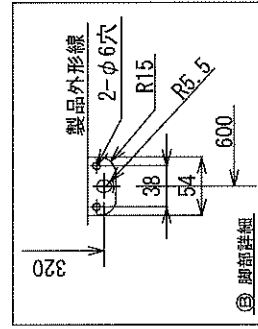
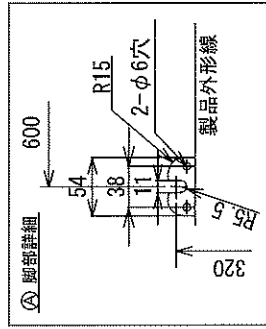
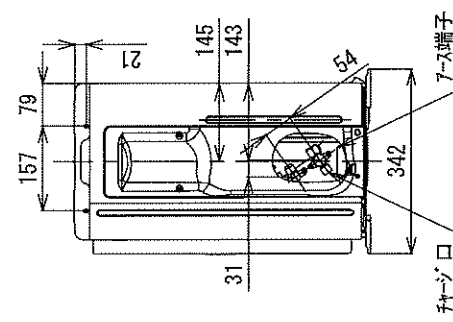
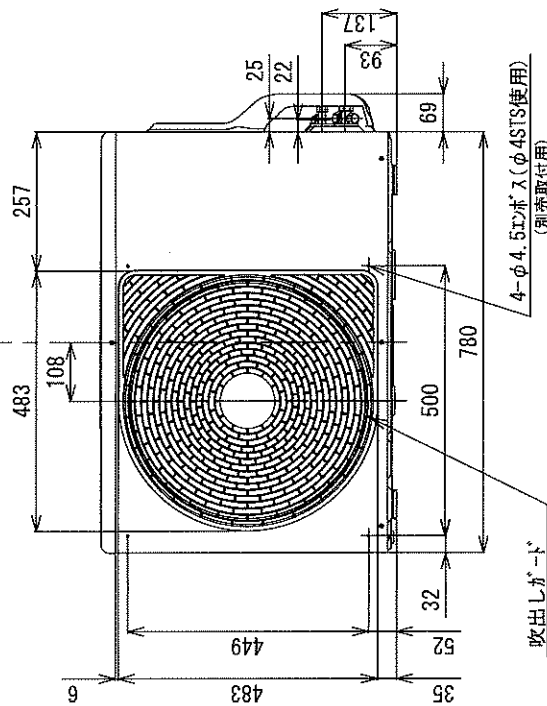
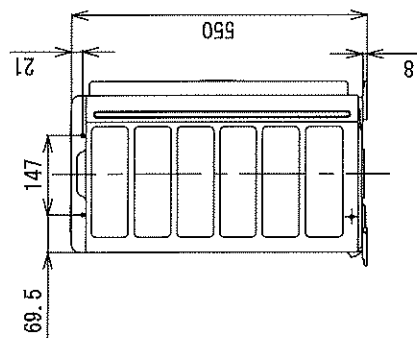
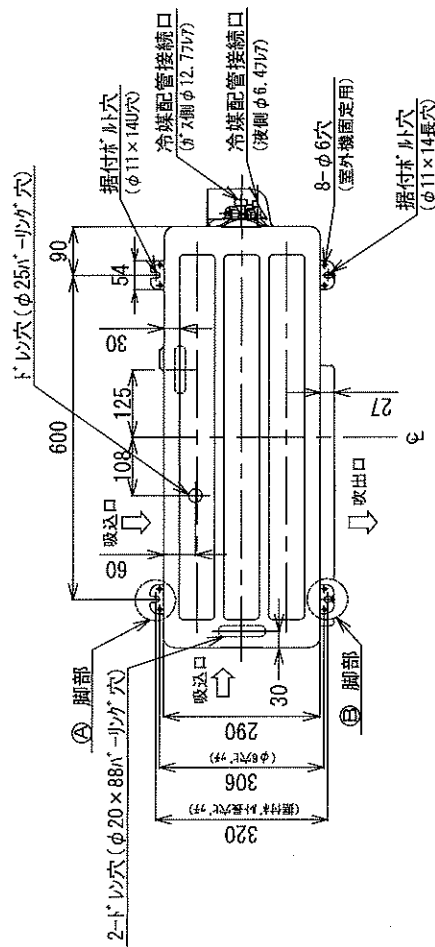
(注4) 経済産業省告示213号「エアコンディショナーの性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」(通称:省エネ法基準値)における通年エネルギー消費効率は、「APF (JIS B 8616:2006)」が適用されます。

(注5) 定格騒音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015に基づいた値です。

(注6) 運転音(音圧レベル)は、JIS B 8616:2006に基づいた値です。

(注7) 定格風量は「急」です。

(注8) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には手元開閉器+ヒューズ、または配線用遮断器を設けてください。漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。

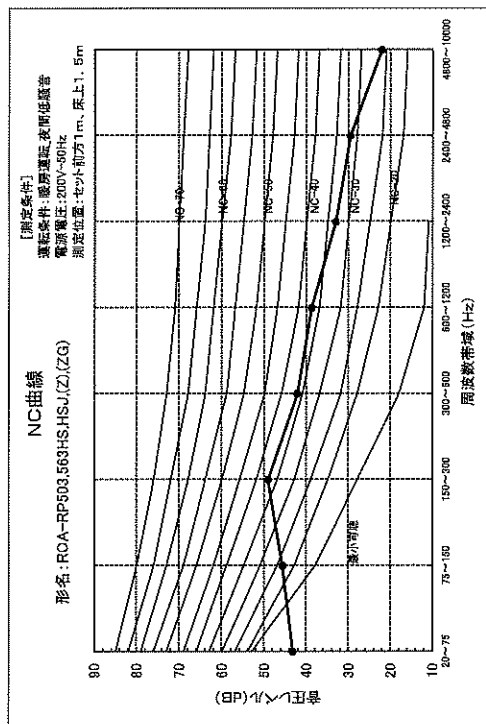
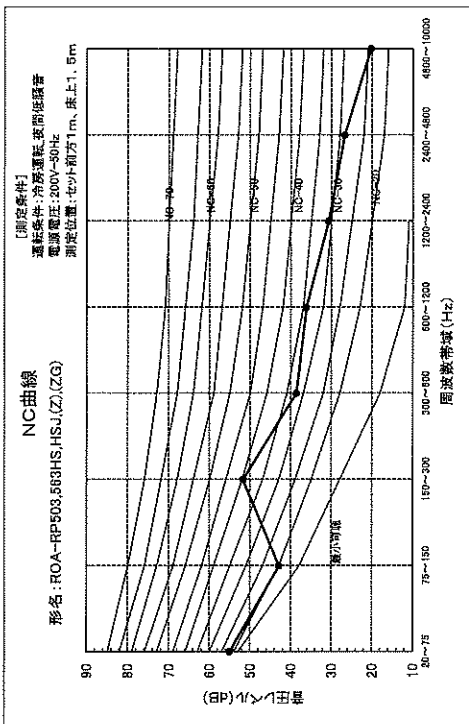


図面番号		T26C1823-01	
東芝パッケージエアコン		品名	
外形図		尺	
(適用機種は左記)		度	
		角	
		法	
ROA-RP403HSJ	ROA-RP503HSJ	ROA-RP453HS	ROA-RP503HS
ROA-RP403HSJZ	ROA-RP503HSJZ	ROA-RP453HSZ	ROA-RP503HSZ
ROA-RP403HSJZG	ROA-RP503HSJZG	ROA-RP453HSZG	ROA-RP503HSZG

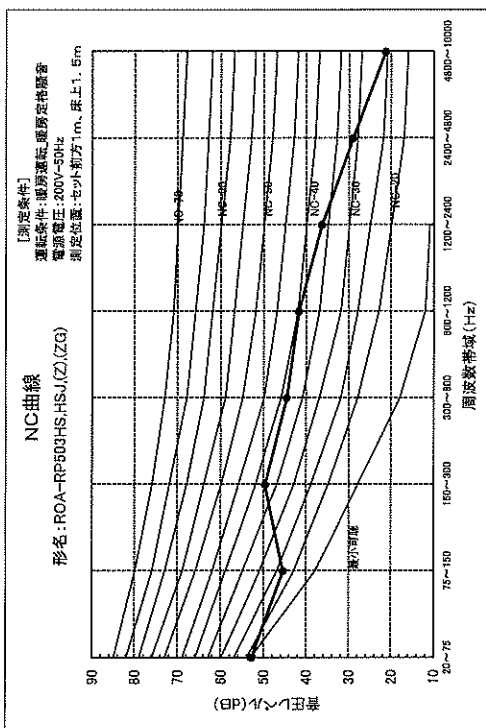
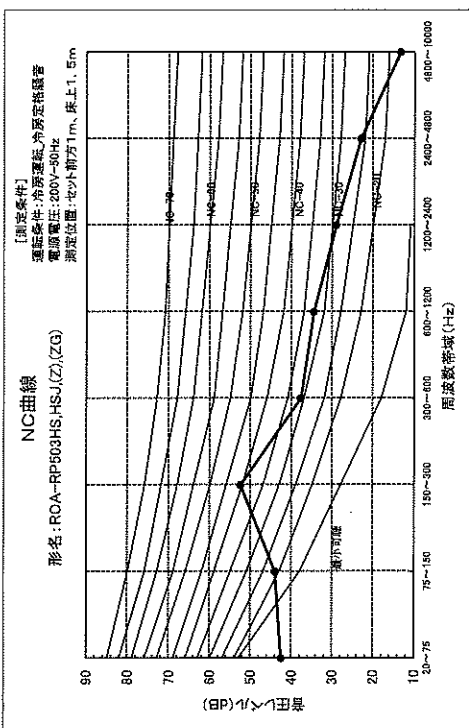
東芝キヤリア株式会社

T26C1823-8X

ROA-RP503HS,HSJ(Z),(ZG)	
夜間低騒音モード	製品前方1m 床上1.5m
オーバーオールレベル(dB(A))	冷房 45 暖房 45



ROA-RP503HS,HSJ(Z),(ZG)	
通常運転	製品前方1m 床上1.5m
オーバーオールレベル(dB(A))	冷房 45 暖房 47



図面番号	TDT26C1927
品名	東芝パッケージエアコン 騒音データ・NC曲線
適 用 機 種	ROA-RP503HS (Z・ZG) ROA-RP503HSJ (Z・ZG)
東芝キヤリア株式会社	

セット名称 RUFA16031M
 仕様表 (室内ユニット) AIU-RP1603H
 (室外機) ROA-RP1601H

天花
インバータ

東芝パッケージエアコン (空冷インバータヒートポンプ式天井カセット形4方向吹出しタイプ) 【グリーン購入法適合】 (50/60Hz)

冷房性能	定格冷房標準能力	kW	14.0 < 3.1 ~ 16.0 >	室	形名		ROA-RP1601H			
	顕熱比	-	0.74		外	外装		シルキーシェード(マンセル)Y8.5/O.5		
	定格冷房標準エネルギー消費効率	-	2.99 / 2.99			外形寸法	高さ	mm	1,050	
	中間冷房標準能力	kW	6.3				幅	mm	1,010	
	中間冷房中温能力	kW	6.3				奥行	mm	370	
	最小冷房中温能力	kW	3.6			総質量	kg	78		
	定格暖房標準能力	kW	14.0 < 2.6 ~ 18.0 >				圧縮機	形式	全密閉形	
	定格暖房標準エネルギー消費効率	-	4.12 / 4.12			圧縮機用電動機定格出力		kW	4.06	
	中間暖房標準能力	kW	6.3			極数	4			
	最小暖房標準能力	kW	3.5			空気熱交換器	フィンドチューブ			
	最大暖房低温能力	kW	15.1			冷媒制御	(冷)	電子制御弁		
	適年エネルギー消費効率	(注4)								
APF2015 (JIS B 8616:2015)	-	5.7 / 5.7		(暖)		電子制御弁				
APF (JIS B 8616:2006)	-	5.5 / 5.5		送風機	プロペラファン					
冷暖平均エネルギー消費効率	-	3.56 / 3.56		送風装置	標準風量	m ³ /min	82.5			
電気特性	電源	(注2)	三相 200V 50/60 Hz		電動機	kW	0.100			
	消費電力	冷房	定格冷房標準	kW	4.68 / 4.68		高圧スイッチ	MPa	-	
		中間冷房標準	kW	1.07 / 1.07		低圧スイッチ	MPa	-		
		中間冷房中温	kW	0.970 / 0.970		保護装置	吐出温度センサー 過電流センサー 圧縮機サーモ			
		最小冷房中温	kW	0.440 / 0.440		ケースヒータ	W	-		
		定格暖房標準	kW	3.40 / 3.40		定格騒音(音響パワーレベル)	(冷)	dB	74	
		中間暖房標準	kW	0.980 / 0.980		(注5)	(騒)	dB	74	
	最小暖房標準	kW	0.580 / 0.580		運転音(音圧レベル)	(冷)	dB	58		
	最大暖房低温	kW	5.32 / 5.32		(注6)	(騒)	dB	58		
	運転電流	(冷)	14.2 / 14.2		IPコード	IPX4				
	(暖)	A	10.3 / 10.3		法定冷凍トン	2.93				
	(最大)	A	24.5 / 24.5		設計圧力	高圧部	MPa	4.15		
力率	(冷)	95 / 95		低圧部	MPa	2.21				
(注1)	(暖)	95 / 95		冷媒・出荷時封入量	kg	R32・2.40				
始動電流	A	- / -		冷媒追加不要の最大実長	m	30				
室内ユニット	形名	AIU-RP1603H		冷媒追加量	g/m	35				
	外装	シルバー(溶融亜鉛メッキ鋼板)		室外機・室内ユニット間	mm	ガス側: φ15.9	液側: φ9.5			
	外形寸法	高さ	mm	319		冷媒配管	最大実長	m	50	
		幅	mm	840			最大落差	m	室外機が上の場合: 30 室外機が下の場合: 30	
		奥行	mm	840			漏電遮断器	(注8)	30A, 30mA 0.1sec以下	
	総質量	kg	25		開閉器容量	A	30			
	空気熱交換器	フィンドチューブ		送風機	ターボファン	手元開閉器	ヒューズ	A	30	
	防音・断熱材	発泡ポリスチレン		送風装置	急/強+/強/弱+/弱	配線用遮断器	A	30		
	送風装置	送風機	(注7)	m ³ /min	37.5 / 33.0 / 29.5 / 24.0 / 21.5	電源配線	線径	電源線こう長(最大)		
	電動機	kW	0.130		単線1.6mm		- / -			
	エアフィルタ	天井パネルに付属		エアフィルタ	天井パネルに付属		単線2.0mm	- / -		
	運転調整装置	(注3)	リモコンスイッチ		燃線3.5mm ²		- / -			
ドレン口径(呼び径)	25(塩ビ管)		ドレン口径	25(塩ビ管)	燃線5.5mm ²		19 / 19			
定格騒音(音響パワーレベル)	(注5)	dB(A)	61 / 57 / 56 / 54 / 50		燃線8.0mm ²		28 / 28			
急/強+/強/弱+/弱			運転音(音圧レベル)	(注6)	燃線14.0mm ²		50 / 50			
急/強+/強/弱+/弱			電熱装置	取得不可	燃線22.0mm ²		79 / 79			
急/強+/強/弱+/弱			天井	RBC-U41PG(W)(C)(N)(K)	燃線38.0mm ²		- / -			
急/強+/強/弱+/弱			井外装	(W): グランホワイト(マンセル)5PB9/1 (C): マースブラウン(マンセル)8.6YR6.7/3.4 (N): アポログレー(マンセル)4.5B6.5/O.5 (K): コスミックブラック(マンセル)N1	連絡線		室外機・室内ユニット間	75 m以下 単線1.6mm×3本		
急/強+/強/弱+/弱			外形寸法	高さ	mm		30			
急/強+/強/弱+/弱			幅	mm	950					
急/強+/強/弱+/弱			奥行	mm	950					
(注3)	総質量	kg	5.0		リモコンコード	(500mまで)	VCTF0.5-2.0mm ² 2芯 など			

(注1) 冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616:2015による温度条件、基準配管《配管相当長7.5m(P40~P63形は5m)、落差0m》のときの値です。 < > 内は能力範囲を示します。
 (注2) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。
 (注3) 天井パネル・リモコンスイッチは別売部品です。 リモコンコード配線長は『リモコン外形図』を参照してください。
 (注4) 経済産業省告示213号「エアコンディショナーの性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」(通称:省エネ法基準値)における適年エネルギー消費効率は、「APF (JIS B 8616:2006)」が適用されます。
 (注5) 定格騒音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015に基づいた値です。
 (注6) 運転音(音圧レベル)は、JIS B 8616:2006に基づいた値です。
 (注7) 定格風量は「急」です。
 (注8) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には手元開閉器+ヒューズ、または配線用遮断器を設けてください。漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。

セット名称 **RSSC22433M**
仕様表 (室内ユニット) AIU-RP803SH ×3

(室外機) ROA-RP2243HS
(分岐管) RBC-TRP100

天花セ
インバータ
同時トリプル

東芝パッケージエアコン (空冷インバータヒートポンプ式天井カセット形1方向吹出しタイプ)

【グリーン購入法適合】
(50/60Hz)

冷房性能 (注1)	定格冷房標準能力	kW	20.0 < 5.3 ~ 22.4 >	室 外 機	形名	ROA-RP2243HS			
	額 熟 比	-	0.72		外 装	シルキーシェード(マンセル1Y8.5/0.5)			
	定格冷房標準エネルギー消費効率	-	2.63 / 2.63		外形寸法	高 丈	mm	1,550	
	中間冷房標準能力	kW	9.0			幅	mm	1,010	
	中間冷房中温能力	kW	9.5		総 質 量	奥行	mm	370	
	最小冷房中温能力	kW	5.6			kg	141		
	暖房性能 (注1)	定格暖房標準能力	kW		22.4 < 4.6 ~ 28.0 >	圧 縮 機	形 式	全密閉形	
	定格暖房標準エネルギー消費効率	-	3.30 / 3.30		圧縮機用電動機定格出力		kW	4.74	
	通年エネルギー消費効率 (注5)	APF2015 (JIS B 8616:2015)	-		5.1 / 5.1	空 気 熱 交 換 器	換 数	4	
		APF (JIS B 8616:2006)	-		4.5 / 4.5		冷 媒 制 御	(冷)	電子制御弁
電 源 (注2)	冷 媒	三 相 200V 50/60Hz		機 外 機	冷 媒 制 御	(暖)	電子制御弁		
	冷房消費電力	定格冷房標準	kW		7.60 / 7.60	送風装置	送 風 機	プロペラファン	
		中間冷房標準	kW		2.13 / 2.13		標 準 風 量	m³/min	152.5
		中間冷房中温	kW		1.81 / 1.81	電 動 機	電 動 機	kW	0.200+0.200
		最小冷房中温	kW		0.770 / 0.770		高 圧 ス イ ッ チ	MPa	作動: 4.15
	暖房消費電力	定格暖房標準	kW		6.79 / 6.79	低 圧 ス イ ッ チ	MPa	-	
		中間暖房標準	kW		1.84 / 1.84	保 護 装 置	吐出温度センサー 過電流センサー 圧縮機サーモ		
		最小暖房標準	kW		0.870 / 0.870	ケ ー ス ヒ ー タ	W	-	
		最大暖房低温	kW		9.29 / 9.29	定 格 騒 音 (音響パワーレベル)	(冷) dB	76	
	運 転 電 流 (冷) (暖) (最大)	運 転 電 流	A		23.3 / 23.3	定 格 騒 音 (音響パワーレベル)	(暖) dB	76	
運 転 電 流		A	20.9 / 20.9	運 転 音 (音圧レベル)	(冷) dB		58		
力 率 (冷) (暖)	力 率	%	94 / 94	運 転 音 (音圧レベル)	(暖) dB	60			
	力 率	%	94 / 94		IPコード	IPX4			
始 動 電 流 (冷) (暖)	始 動 電 流	A	- / -	法定冷凍トン	3.92				
	始 動 電 流	A	- / -	設 計 圧 力	高 圧 部	MPa	4.15		
室 外 機 (注1)	形 名	AIU-RP803SH		高 圧 部	MPa	2.21			
	外 装	グレー (断熱材貼付溶融鉛鉛メッキ鋼板)		低 圧 部	MPa	2.21			
	内 外 形 寸 法	高 丈	mm	200	保 護 装 置	吐出温度センサー 過電流センサー 圧縮機サーモ			
		幅	mm	1,000	ケ ー ス ヒ ー タ	W	-		
		奥行	mm	710	定 格 騒 音 (音響パワーレベル)	(冷) dB	76		
	コ ー デ	総 質 量	kg	21	定 格 騒 音 (音響パワーレベル)	(暖) dB	76		
		空 気 熱 交 換 器	フィンチューブ			運 転 音 (音圧レベル)	(冷) dB	58	
	二 重 防 音	防 音 ・ 断 熱 材	難燃性ポリエチレンフォーム、発泡ポリスチレン		運 転 音 (音圧レベル)	(暖) dB	60		
		送 風 機	シロココファン			IPコード	IPX4		
	ツ ー ン 送 風	送 風 量 (注8)	m³/min	19.0 / 17.5 / 16.0 / 14.0 / 13.5	法定冷凍トン	3.92			
電 動 機		kW	0.094	設 計 圧 力	高 圧 部	MPa	4.15		
ト ン ン ン	エ ア フ ィ ル タ	天井パネルに付属		高 圧 部	MPa	2.21			
	運 転 調 整 装 置 (注4)	リモコンスイッチ		低 圧 部	MPa	2.21			
計 画	ド レ ン 口 径 (呼び径)	25(塩ビ管)		保 護 装 置	吐出温度センサー 過電流センサー 圧縮機サーモ				
	定 格 騒 音 (音響パワーレベル) (注6)	dB(A)	60 / 58 / 56 / 54 / 52	ケ ー ス ヒ ー タ	W	-			
天 井 形	運 転 音 (音圧レベル) (注7)	dB(A)	45 / 43 / 41 / 39 / 37	定 格 騒 音 (音響パワーレベル)	(冷) dB	76			
	電 熱 装 置	取付不可		運 転 音 (音圧レベル)	(暖) dB	60			
井 外 機	形 名	RBC-US21PG(W)-1		電 源 配 線	線 径	電源線ごう長(最大)			
	外 装	(W)ムーンホワイト(マンセル2.5GY9.0/0.5)		単 線 1.6mm	mm	- / -			
ル 外 形 寸 法	高 丈	mm	20	単 線 2.0mm	mm	- / -			
	幅	mm	1,230	燃 線 3.5mm ²	mm	- / -			
(注4)	奥行	mm	800	燃 線 5.5mm ²	mm	- / -			
	総 質 量	kg	5.5	燃 線 8.0mm ²	mm	25 / 25			
電 源 配 線	燃 線 14.0mm ²	mm	44 / 44	燃 線 22.0mm ²	mm	70 / 70			
	燃 線 38.0mm ²	mm	121 / 121	燃 線 38.0mm ²	mm	121 / 121			
連 絡 線	単 線 1.6mm×3本	75m以下		電 源 配 線	線 径	電源線ごう長(最大)			
	別ケーブル 燃線3.5mm ² ×2本 燃線3.5mm ² ×1本	120m以下		単 線 1.6mm	mm	- / -			
リ モ コ ン コ ー ド	(電源線) : 単線1.6mm×2本 (信号線) : 燃線0.3mm ² ×2本	室内A・室内B間 室内B・室内C間		燃 線 3.5mm ²	mm	- / -			
	(室内AICのみ接続します) (500mまで)	VCTF0.5-2.0mm ² 2芯 など		燃 線 5.5mm ²	mm	- / -			

- (注1) 冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616:2015による温度条件、基準配管《配管相当長7.5m(P40~P63形は5m)、落差0m》のときの値です。
(注2) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。
(注3) 同一室内ユニットを3台使用し、表示は室内ユニット1台あたりの値を示します。
(注4) 天井パネル・リモコンスイッチは別売部品です。
リモコンコード配線長は『リモコン外形図』を参照してください。
(注5) 経済産業省告示213号「エアコンディショナーの性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」
(通称：省エネ法基準値)における通年エネルギー消費効率は、「APF (JIS B 8616:2006)」が適用されます。
(注6) 定格騒音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015に基づいた値です。
(注7) 運転音(音圧レベル)は、JIS B 8616:2006に基づいた値です。
(注8) 定格風量は「急」です。
(注9) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には手元開閉器+ヒューズ、または配線用遮断器を設けてください。漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。

セット名称 **RFSB28033B**
 仕様表 (室内ユニット) AIF-RP1403H ×2

(室外機) ROA-RP2803HS
 (分岐管) RBC-TWP101

床置スタンド
 インバータ
 同時ツイン

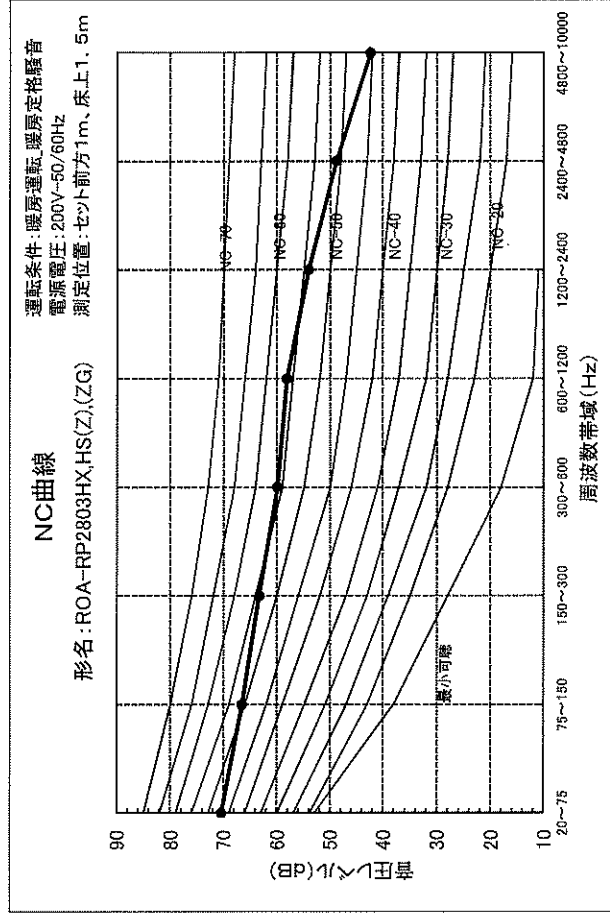
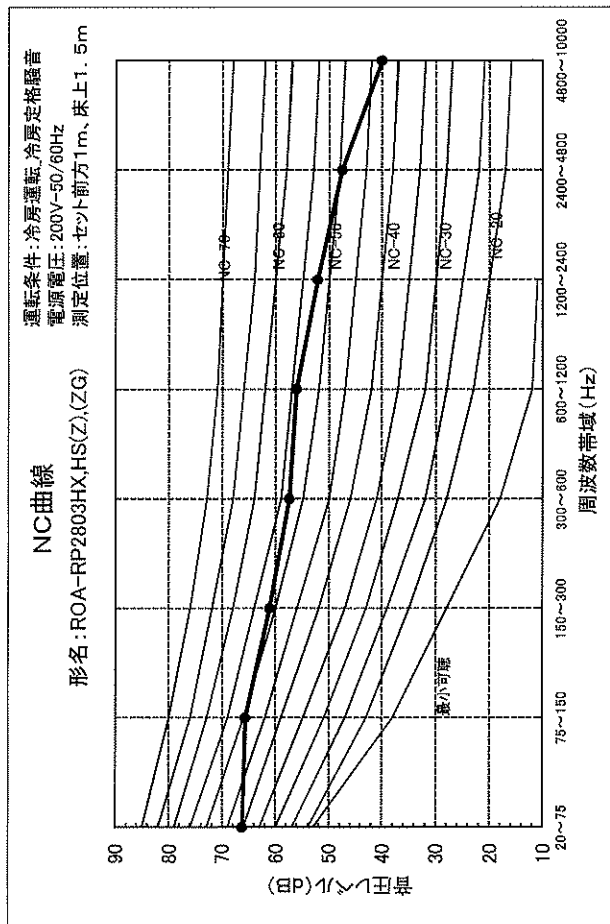
東芝パッケージエアコン (空冷インバータヒートポンプ式床置形スタンドタイプ) [グリーン購入法適合] (50/60Hz)

冷房性能 (注1)	定格冷房標準能力	kW	25.0 < 5.3 ~ 28.0 >	室 外 機	形名	ROA-RP2803HS			
	額熱比	-	0.80		外装	シルキーシェード(マンセル1Y8.5/0.5)			
	定格冷房標準エネルギー消費効率	-	2.23 / 2.23		外形寸法	高さ	mm	1,550	
	中間冷房標準能力	kW	11.3			幅	mm	1,010	
	中間冷房中温能力	kW	11.6		総質量	奥行	mm	370	
	最小冷房中温能力	kW	6.3			質量	kg	141	
	定格暖房標準能力	kW	28.0 < 4.6 ~ 31.5 >		圧縮機	形式	全密閉形		
	定格暖房標準エネルギー消費効率	-	3.06 / 3.06			圧縮機用電動機定格出力	kW	7.16	
	中間暖房標準能力	kW	12.6		極数	4			
	最小暖房標準能力	kW	7.0		空気熱交換器	フィンドチューブ			
	最大暖房低温能力	kW	21.8		冷媒制御	(冷) 電子制御弁 (暖) 電子制御弁			
	通年エネルギー消費効率 (注4)	-	-		送風装置	送風機	プロペラファン		
APF2015 (JIS B 8616:2015)	-	4.5 / 4.5	標準風量	m³/min	181.5				
APF (JIS B 8616:2006)	-	4.0 / 4.0	電動機	kW	0.200+0.200				
冷暖平均エネルギー消費効率	-	2.65 / 2.65	高圧スイッチ	MPa	4.15	復帰: 3.20			
暖房性能 (注1)	電源 (注2)	三相 200V 50/60Hz		機	低圧スイッチ	MPa	-		
	消費電力	冷房	定格冷房標準		kW	11.2 / 11.2	保護装置	吐出温度センサー 過電流センサー 圧縮機サーモ	
		暖房	中間冷房中温		kW	2.45 / 2.45	ケースヒータ	-	
			最小冷房中温		kW	0.790 / 0.790	定格騒音(音響パワーレベル) (注5)	(冷) dB	78
			定格暖房標準		kW	9.15 / 9.15	(暖) dB	80	
	運転電流 (注1)	中間暖房標準	kW		2.49 / 2.49	運転音(音圧レベル) (注6)	(冷) dB	61	
		最小暖房標準	kW		1.47 / 1.47	(暖) dB	63		
		最大暖房低温	kW		10.3 / 10.3	IPコード	IPX4		
		運転電流 (冷)	A		34.0 / 34.0	法定冷凍トン	4.39		
	力率 (注1)	運転電流 (暖)	A		27.8 / 27.8	設計圧力	高圧部	MPa	4.15
		運転電流 (最大)	A		38.2 / 38.2	低圧部	MPa	2.21	
		力率 (冷)	%		95 / 95	冷媒・出荷時封入量	kg	R32・5.20	
力率 (暖)		%	95 / 95	冷媒追加不要の最大実長	m	30			
室内ユニット	始動電流	A	- / -	冷媒追加量	g/m	主配管: 80 分岐配管: 40			
	形名	AIF-RP1403H		冷 媒 配 管	室外機・分岐管間	mm	ガス側: φ25.4 液側: φ12.7		
	外装	シルキーシェード(マンセル1Y8.5/0.5)			分岐管・室内ユニット間	mm	ガス側: φ15.9 液側: φ9.5		
	外形寸法	高さ	mm		1,750	最大実長	m	100	
		幅	mm		600	最大落差	m	室外機が上の場合: 30 室外機が下の場合: 30	
	奥行	mm	390		分岐配管最大長さ	m	20		
	総質量	kg	59		分岐配管長さの最大差	m	10		
	空気熱交換器	フィンドチューブ			漏電遮断器 (注8)	50A, 30mA 0.1sec以下			
	防音・断熱材	難燃性ポリエチレンフォーム・ポリフネン			手元開閉器容量	A	60		
	送風装置	送風機	シロッコファン		手元開閉器ヒューズ	A	50		
		風量 (注7)	m³/min		29.3 / 27.1 / 24.6 / 22.8 / 22.5	配線用遮断器	A	50	
	電動機	kW	0.109		電 源 配 線	線径	電源線こう長(最大)		
エアフィルタ	室内ユニットに付属		単線1.6mm			- / -			
運転調整装置	室内ユニットに内蔵		単線2.0mm	- / -					
ドレン口径(呼び径)	20(塩ビ管)		撚線3.5mm²	- / -					
定格騒音(音響パワーレベル) (注5)	dB(A)	67 / 65 / 62 / 60 / 59		撚線5.5mm²		- / -			
急/強+/強/弱+/弱			撚線8.0mm²	- / -					
運転音(音圧レベル) (注6)	dB(A)	53 / 51 / 48 / 46 / 45		撚線14.0mm²		32 / 32			
急/強+/強/弱+/弱			撚線22.0mm²	50 / 50					
電熱装置	取付不可		撚線38.0mm²	88 / 88					
接続線	室外機・室内ユニット間	75 m以下	単線1.6mm×3本						
	室内A・室内B間	120 m以下	別ケーブル 撚線3.5mm²×2本 撚線3.5mm²×1本						
				(電源線): 単線1.6mm×2本 (信号線): 撚線0.3mm²×2本					

(注1) 冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616:2015による温度条件、基準配管《配管相当長7.5m(P40~P63形は5m)、落差0m》のときの値です。
 (注2) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。
 (注3) 同一室内ユニットを2台使用し、表示は室内ユニット1台あたりの値を示します。
 (注4) 経済産業省告示213号「エアコンディショナーの性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」(通称:省エネ法基準値)における通年エネルギー消費効率は、「APF (JIS B 8616:2006)」が適用されます。
 (注5) 定格騒音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015に基づいた値です。
 (注6) 運転音(音圧レベル)は、JIS B 8616:2006に基づいた値です。
 (注7) 定格風量は「急」です。
 (注8) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には手元開閉器+ヒューズ、または配線用遮断器を設けてください。漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。

ROA-RP2803HX,HS(Z),(ZG)

通常運転	マイク位置	製品前方1m	床上1.5m
	オーバーオール レベル(dB(A))	冷房	暖房
		61	63



適用機種種		図面番号	TDT26C2002-01
ROA-RP2803HX(Z,ZG)	品名	東芝パッケージエアコン	
ROA-RP2803HS(Z,ZG)		騒音データ・NC曲線	
東芝キヤリア株式会社			

セット名称 RUSA04033M
 仕様表 (室内ユニット) AIU-RP403H
 (室外機) ROA-RP403HS

天カセ
インバータ

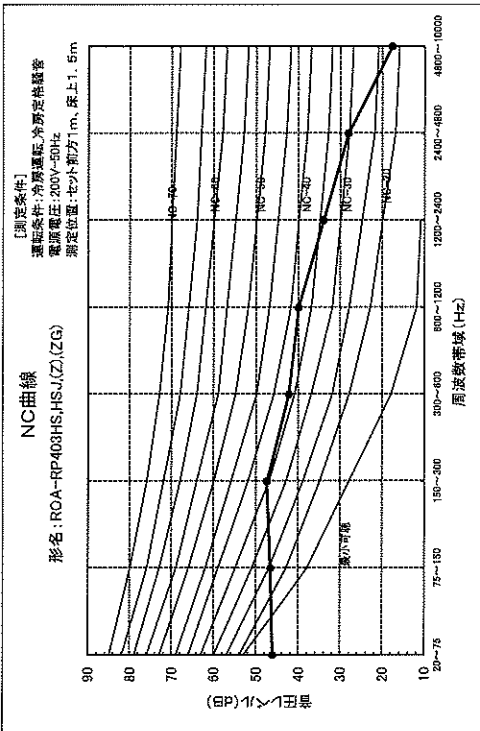
東芝パッケージエアコン (空冷インバータヒートポンプ式天井カセット形4方向吹出しタイプ) 【グリーン購入法適合】 (50/60Hz)

冷房性能	定格冷房標準能力	kW	3.6 < 1.0 ~ 4.0 >	室	形名		ROA-RP403HS						
	顕熱比	-	0.91		外装	シルキーシェード(マンセル1Y8.5/0.5)							
	定格冷房標準エネルギー消費効率	-	4.24		外形寸法	高さ	mm	550					
	中間冷房標準能力	kW	1.7			幅	mm	780					
	中間冷房中温能力	kW	1.8			奥行	mm	290					
	最小冷房中温能力	kW	1.4		総質量	kg	34						
	暖房性能	定格暖房標準能力	kW		4.0 < 0.8 ~ 6.4 >	外	形式	全密閉形					
		定格暖房標準エネルギー消費効率	-		4.71		圧縮機	圧縮機用電動機定格出力	kW	0.73			
		中間暖房標準能力	kW		1.8		極数	6					
		最小暖房標準能力	kW		1.1		空気熱交換器	フィンチューブ					
最大暖房低温能力		kW	4.8	冷媒制御	(冷)		電子制御弁	(暖)	電子制御弁				
通年エネルギー消費効率	APF2015 (JIS B 8616:2015)	-	6.6 / 6.6	送風装置	送風機	プロペラファン							
	APF (JIS B 8616:2006)	-	6.1		標準風量	m³/min	42.0						
冷暖平均エネルギー消費効率	-	4.48 / 4.48		電動機	kW	0.043							
電気特性	電源	(注2)	三相 200V 50/60 Hz	機	高圧スイッチ	MPa	-						
	消費電力	冷房	定格冷房標準		kW	0.850 / 0.850	低圧スイッチ	MPa	-				
			中間冷房標準		kW	0.276 / 0.276	保護装置	吐出温度センサー 過電流センサー 圧縮機サーモ					
		中間冷房中温	kW		0.230 / 0.230	ケースヒータ	W	-					
		最小冷房中温	kW		0.152 / 0.152	定格騒音(音響パワーレベル)	(冷) dB	61					
		定格暖房標準	kW		0.850 / 0.850	(注5) (暖) dB	64						
	中間暖房標準	kW	0.275 / 0.275		運転音(音圧レベル)	(冷) dB	45						
	最小暖房標準	kW	0.170 / 0.170		(注6) (暖) dB	50							
	最大暖房低温	kW	1.74 / 1.74		IPコード	IPX4							
	運転電流	(冷) (暖)	A		2.73 / 2.73 2.73 / 2.73 8.90 / 8.90	法定冷凍トン	0.96						
力率	(冷) (暖)	%	90 / 90 90 / 90	設計圧力	高圧部	MPa	4.15						
始動電流	(冷) (暖)	A	- / -	冷媒・出荷時封入量	kg	R32・0.80							
室内機	形名	AIU-RP403H		冷媒追加	冷媒追加不要の最大実長	m	20						
	外装	シルバー(溶融亜鉛メッキ鋼板)			冷媒追加量	g/m	20						
	外形寸法	高さ	mm		256	室外機・室内ユニット間	mm	ガス側: φ12.7	液側: φ6.4				
		幅	mm		840	冷媒配管	最大実長	m	30				
		奥行	mm		840		最大落差	m	室外機が上の場合: 30 室外機が下の場合: 30				
	総質量	kg	20		漏電遮断器		(注8)	15A, 30mA 0.1sec以下					
	送風装置	送風機	ターボファン		電源配線	開閉器容量	A	15					
	送風装置	急/強+/強/弱+/弱	m³/min			17.5 / 16.5 / 15.0 / 13.5 / 12.5	手元開閉部	ヒューズ	A	10			
		電動機	kW			0.060	配線用遮断器	A	15				
	エアフィルタ	天井パネルに付属				設計	電源配線	線径		電源線こう長(最大)			
運転調整装置	(注3)	リモコンスイッチ	単線1.6mm	19 / 19									
ドレン口径(呼び径)	25(塩ビ管)		単線2.0mm	31 / 31									
定格騒音(音響パワーレベル)	(注5)	dB(A)	燃線3.5mm²	34 / 34									
急/強+/強/弱+/弱	47 / 46 / 44 / 43 / 42		燃線5.5mm²	54 / 54									
運転音(音圧レベル)	(注6)	dB(A)	燃線8.0mm²	- / -									
急/強+/強/弱+/弱	33 / 32 / 30 / 29 / 27		燃線14.0mm²	- / -									
電熱装置	取付不可		燃線22.0mm²	- / -									
天井パネル	形名	RBC-U41PG(M)(C)(N)(K)		線	燃線38.0mm²	- / -	連室外機・室内ユニット間	70 m以下	単線1.6mm×3本				
	外装	(W):グランホワイト(マンセル5PB9/1) (C):マースブラウン(マンセル8.6YF6.7/3.4) (N):アポログレー(マンセル4.5B6.5/0.5) (K):コスミックブラック(マンセルN1)			リモコンコード	(500mまで)		VCTF0.5-2.0mm2 2芯 など					
	外形寸法	高さ	mm			30		線	(500mまで)		VCTF0.5-2.0mm2 2芯 など		
		幅	mm			950			線	(500mまで)		VCTF0.5-2.0mm2 2芯 など	
		奥行	mm			950				線	(500mまで)		VCTF0.5-2.0mm2 2芯 など
総質量	kg	5.0	線	(500mまで)		VCTF0.5-2.0mm2 2芯 など							

(注1) 冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616:2015による温度条件、基準配管《配管相当長7.5m(P40~P63形は5m)、落差0m》のときの値です。
 ()内は能力範囲を示します。
 (注2) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。
 (注3) 天井パネル・リモコンスイッチは別売部品です。
 リモコンコード配線長は『リモコン外形図』を参照してください。
 (注4) 経済産業省告示213号「エアコンディショナーの性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」
 (通称:省エネ法基準値)における通年エネルギー消費効率は、「APF (JIS B 8616:2006)」が適用されます。
 (注5) 定格騒音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015に基づいた値です。
 (注6) 運転音(音圧レベル)は、JIS B 8616:2006に基づいた値です。
 (注7) 定格風量は「急」です。
 (注8) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には手元開閉器+ヒューズ、または配線用遮断器を設けてください。漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。

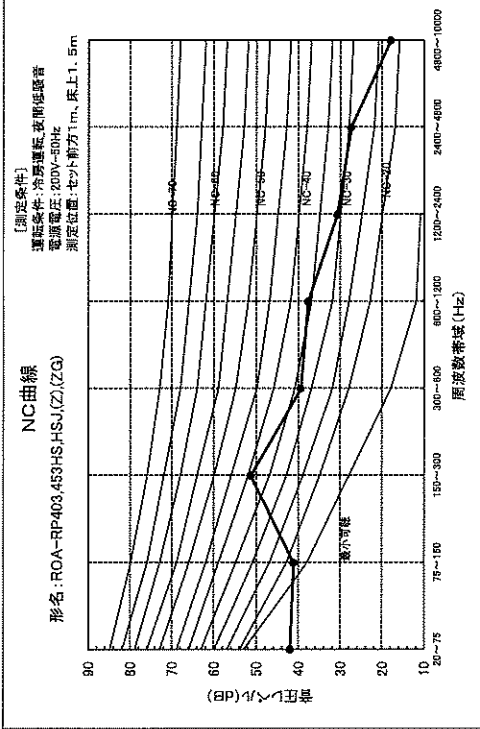
ROA-RP403HS,HSJ(Z),(ZG)

通常運転	製品前方1m	床上1.5m
オーバーオール	冷房	暖房
レベル(dB(A))	45	50



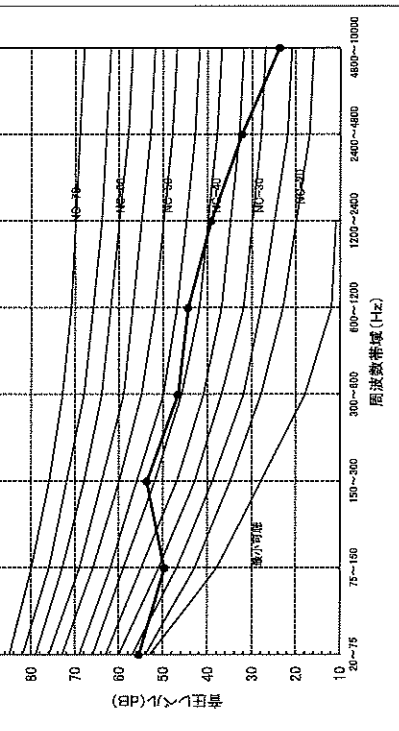
ROA-RP403HS,HSJ(Z),(ZG)

夜間低騒音モード	製品前方1m	床上1.5m
オーバーオール	冷房	暖房
レベル(dB(A))	45	45



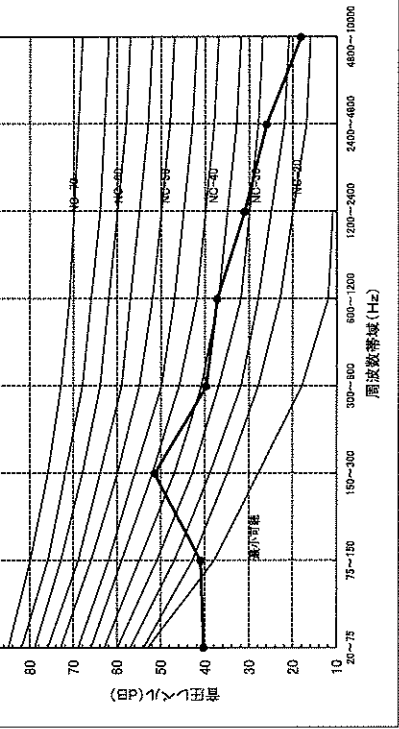
ROA-RP403HS,HSJ(Z),(ZG)

通常運転	製品前方1m	床上1.5m
オーバーオール	冷房	暖房
レベル(dB(A))	45	50



ROA-RP403HS,HSJ(Z),(ZG)

夜間低騒音モード	製品前方1m	床上1.5m
オーバーオール	冷房	暖房
レベル(dB(A))	45	45



適用機種	図面番号	TDT26C1925
ROA-RP403HS(Z・ZG)	品名	東芝パッケージエアコン
ROA-RP403HSJ(Z・ZG)	品名	騒音データ・NC曲線
東芝キヤリア株式会社		

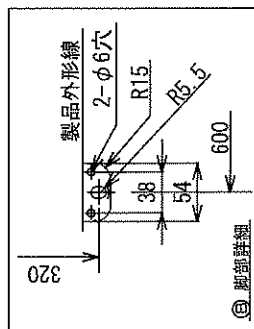
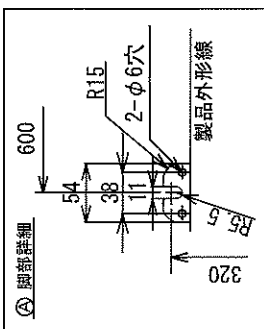
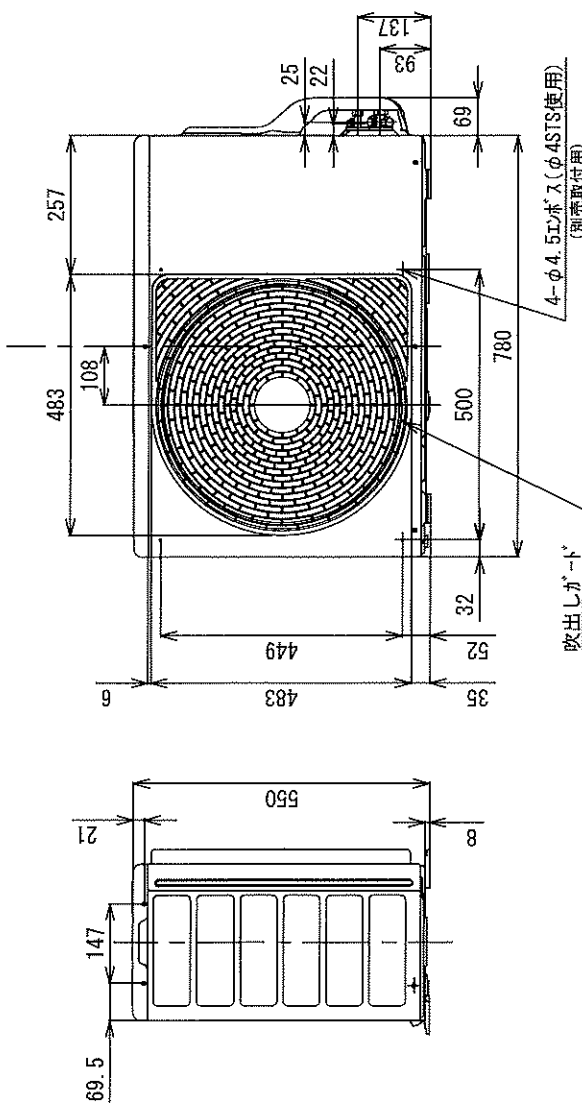
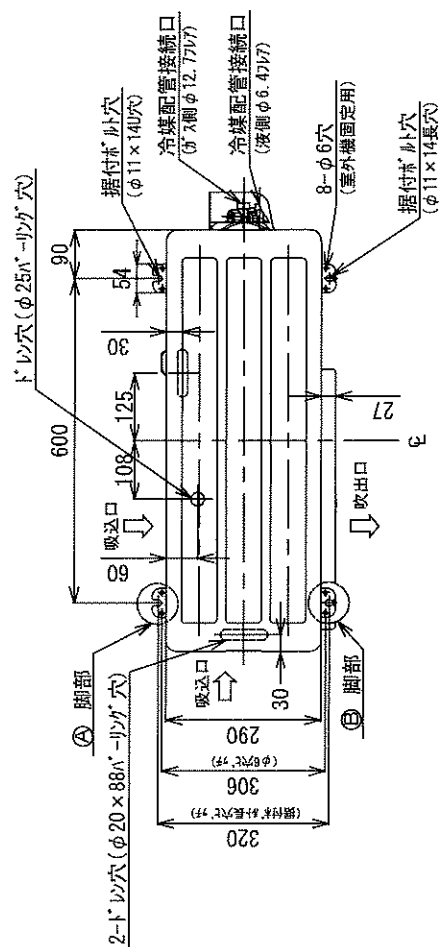
セット名称 RUSA05633M
 仕様表 (室内ユニット) AIU-RP563H
 (室外機) ROA-RP563HS

天カセ
インバータ

東芝パッケージエアコン (空冷インバータヒートポンプ式天井カセット形4方向吹出しタイプ) 【グリーン購入法適合】 (50/60Hz)

冷房性能 (注1)	定格冷房標準能力	kW	5.0 < 1.2 ~ 5.6 >	形名 ROA-RP563HS	外装		シルキーシェード(マンセル1Y8.5/0.5)			
	顕熱比	-	0.84		外形寸法	高さ	mm	550		
	定格冷房標準エネルギー消費効率	-	3.91			幅	mm	780		
	中間冷房標準能力	kW	2.3			奥行	mm	290		
	中間冷房中温能力	kW	2.4		総質量	kg	39			
	最小冷房中温能力	kW	1.5			形式	全密閉形			
	定格暖房標準能力	kW	5.6 < 0.9 ~ 8.1 >		圧縮機	圧縮機用電動機定格出力	kW	1.11		
	定格暖房標準エネルギー消費効率	-	4.38			極数	6			
	中間暖房標準能力	kW	2.6		空気熱交換器	フィンチューブ				
	最小暖房標準能力	kW	1.4			冷媒制御	(冷)	電子制御弁		
最大暖房低温能力	kW	6.3	(暖)	電子制御弁						
通年エネルギー消費効率	(注4)	6.8 / 6.8		送風装置	送風機	プロペラファン				
APF2015 (JIS B 8616:2015)	-	5.9			標準風量	m³/min	36.7			
APF (JIS B 8616:2006)	-	4.15 / 4.15			電動機	kW	0.043			
電気特性 (注1)	電源	(注2)	三相 200V 50/60 Hz	機	高圧スイッチ	MPa	-			
	消費電力	冷房	定格冷房標準		kW	1.28 / 1.28	低圧スイッチ	MPa	-	
			中間冷房標準		kW	0.380 / 0.380	保護装置	吐出温度センサー		
			中間冷房中温		kW	0.292 / 0.292		過電流センサー		
			最小冷房中温		kW	0.158 / 0.158	圧縮機サーモ			
			定格暖房標準		kW	1.28 / 1.28	ケースヒータ	W	-	
	運転電流	暖房	中間暖房標準		kW	0.405 / 0.405	定格騒音(音響パワーレベル)	(冷)	dB	61
			最小暖房標準		kW	0.207 / 0.207	(注5)	(暖)	dB	64
			最大暖房低温		kW	2.25 / 2.25	運転音(音圧レベル)	(冷)	dB	45
			(注6)		(暖)	dB	47			
力率			(冷)	%	92 / 92	IPコード	IPX4			
(注1)	(暖)	%	92 / 92	法定冷凍トン	1.09					
始動電流	A	- / -		設計圧力	高圧部	MPa	4.15			
室外機	形名	AIU-RP563H		低圧部	MPa	2.21				
	外装	シルバー(溶融亜鉛メッキ鋼板)		冷媒・出荷時封入量	kg	R32・1.10				
	外形寸法	高さ	mm	256	冷媒追加不要の最大実長	m	20			
		幅	mm	840	冷媒追加量	g/m	20			
		奥行	mm	840	室外機・室内ユニット間	mm	ガス側: φ12.7 液側: φ6.4			
	ユニット	総質量	kg	20	冷媒配管	最大実長	m	50		
		空気熱交換器	フィンチューブ			最大落差	m	室外機が上の場合: 30		
		防音・断熱材	発泡ポリスチレン、ターボファン			室外機が下の場合: 30				
		送風装置	送風機	ターボファン		漏電遮断器	(注9)	15A、30mA 0.1sec以下		
			風量	(注7)	m³/min		手元開閉器	開閉器容量	A	15
電動機		kW	0.060	ヒューズ	A	10				
エアフィルタ		天井パネルに付属		配線用遮断器	A	15				
運転調整装置		(注3)	リモコンスイッチ		電源配線	線径	電源線こう長(最大)			
ドレン口径(呼び径)		25(塩ビ管)		単線1.6mm		19 / 19				
定格騒音(音響パワーレベル)		(注5)	dB(A)	47 / 46 / 44 / 43 / 42		単線2.0mm	31 / 31			
急/強+/強-/弱+/弱			燃線3.5mm²	34 / 34						
運転音(音圧レベル)	(注6)	dB(A)	33 / 32 / 30 / 29 / 27	燃線5.5mm²		54 / 54				
急/強+/強-/弱+/弱				燃線8.0mm²	- / -					
電熱装置	取付不可			燃線14.0mm²	- / -					
燃線22.0mm²				燃線38.0mm²	- / -					
天井外装	RBC-U41PG(W)(C)(N)(K)		連	室外機・室内ユニット間	70 m以下	単線1.6mm×3本				
パネル	外形寸法	高さ	mm	(W):グランホワイト(マンセル5PB9/1)						
		幅	mm	(C):マースブラウン(マンセル8.6YR6.7/3.4)						
		奥行	mm	(N):アボログレー(マンセル4.5B6.5/0.5)						
(注3)	総質量	kg	5.0	(K)コスミックブラック(マンセルN1)						
リモコンコード					VCTF0.5-2.0mm2 2芯 など					

(注1) 冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616:2015による温度条件、基準配管《配管相当長7.5m(P40~P63形は5m)、落差0m》のときの値です。 < > 内は能力範囲を示します。
 (注2) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。
 (注3) 天井パネル・リモコンスイッチは別売部品です。リモコンコード配線長は『リモコン外形図』を参照してください。
 (注4) 経済産業省告示213号「エアコンディショナーの性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」(通称:省エネ法基準値)における通年エネルギー消費効率は、「APF (JIS B 8616:2006)」が適用されます。
 (注5) 定格騒音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015に基づいた値です。
 (注6) 運転音(音圧レベル)は、JIS B 8616:2006に基づいた値です。
 (注7) 定格風量は「急」です。
 (注8) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には手元開閉器+ヒューズ、または配線用遮断器を設けてください。漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。

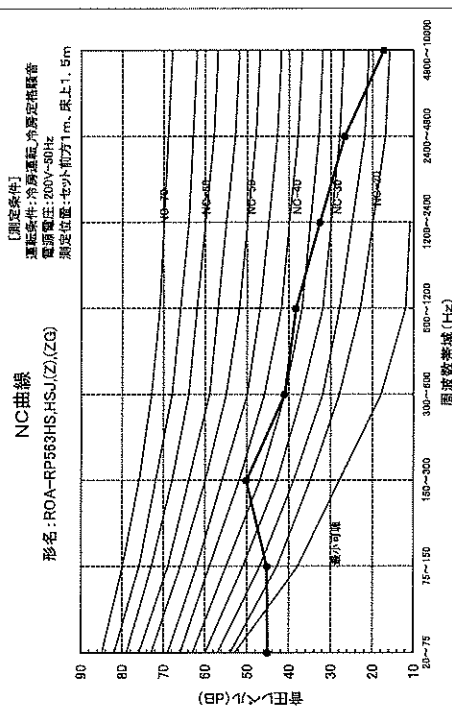


適用機種		図面番号		東芝パッケージエアコン		品名		外形図		尺		単位		図法		角		三	
		T26C1823-01																	
ROA-PP403HSJ	ROA-PP453HSJ	ROA-PP503HSJ	ROA-PP563HSJ	ROA-PP403HS	ROA-PP453HS	ROA-PP503HS	ROA-PP563HS	ROA-PP503HSZ	ROA-PP563HSZ	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG						
ROA-PP403HSJZ	ROA-PP453HSJZ	ROA-PP503HSJZ	ROA-PP563HSJZ	ROA-PP403HSZ	ROA-PP453HSZ	ROA-PP503HSZ	ROA-PP563HSZ	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG						
ROA-PP403HSJZG	ROA-PP453HSJZG	ROA-PP503HSJZG	ROA-PP563HSJZG	ROA-PP403HSZG	ROA-PP453HSZG	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG	ROA-PP503HSZG	ROA-PP563HSZG						

東芝キヤリア株式会社
T26C1823-8X

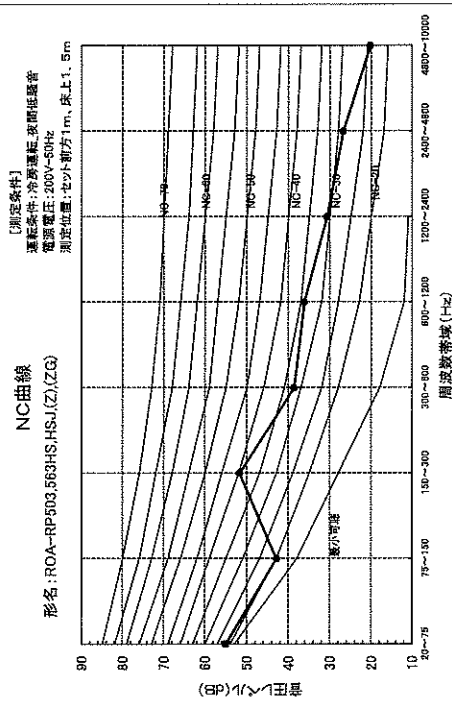
ROA-RP563HS.HSJ(Z)(ZG)

通常運転	製品前方1m	床上1.5m	暖房	47
	マイク位置		冷房	45
	オーバーオール		レベル(dB(A))	

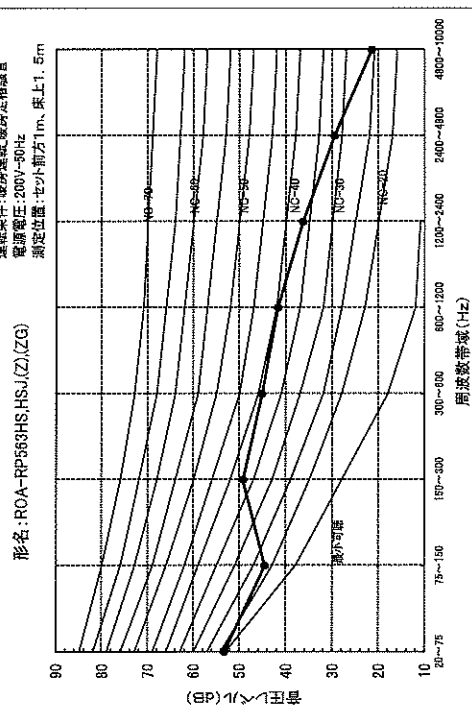


ROA-RP563HS.HSJ(Z)(ZG)

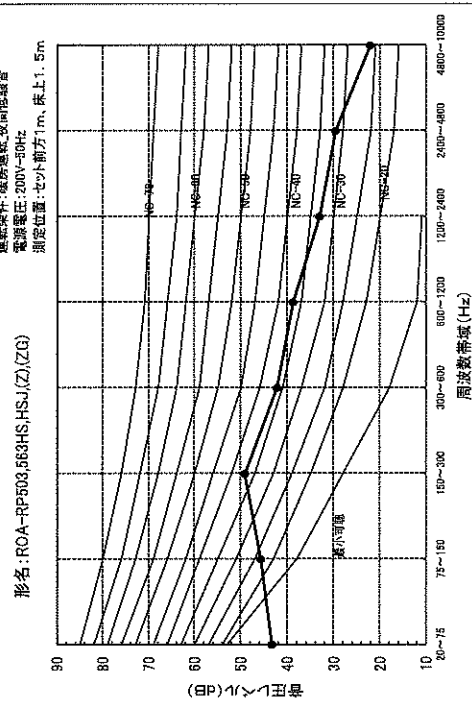
夜間低騒音モード	製品前方1m	床上1.5m	暖房	45
	マイク位置		冷房	45
	オーバーオール		レベル(dB(A))	



NC曲線



NC曲線



適用機種種

ROA-RP563HS(Z-ZG)
 ROA-RP563HSJ(Z-ZG)

図面番号

IDT26C1928
 東芝パッケージエアコン
 騒音データ・NC曲線

日本キヤリア株式会社

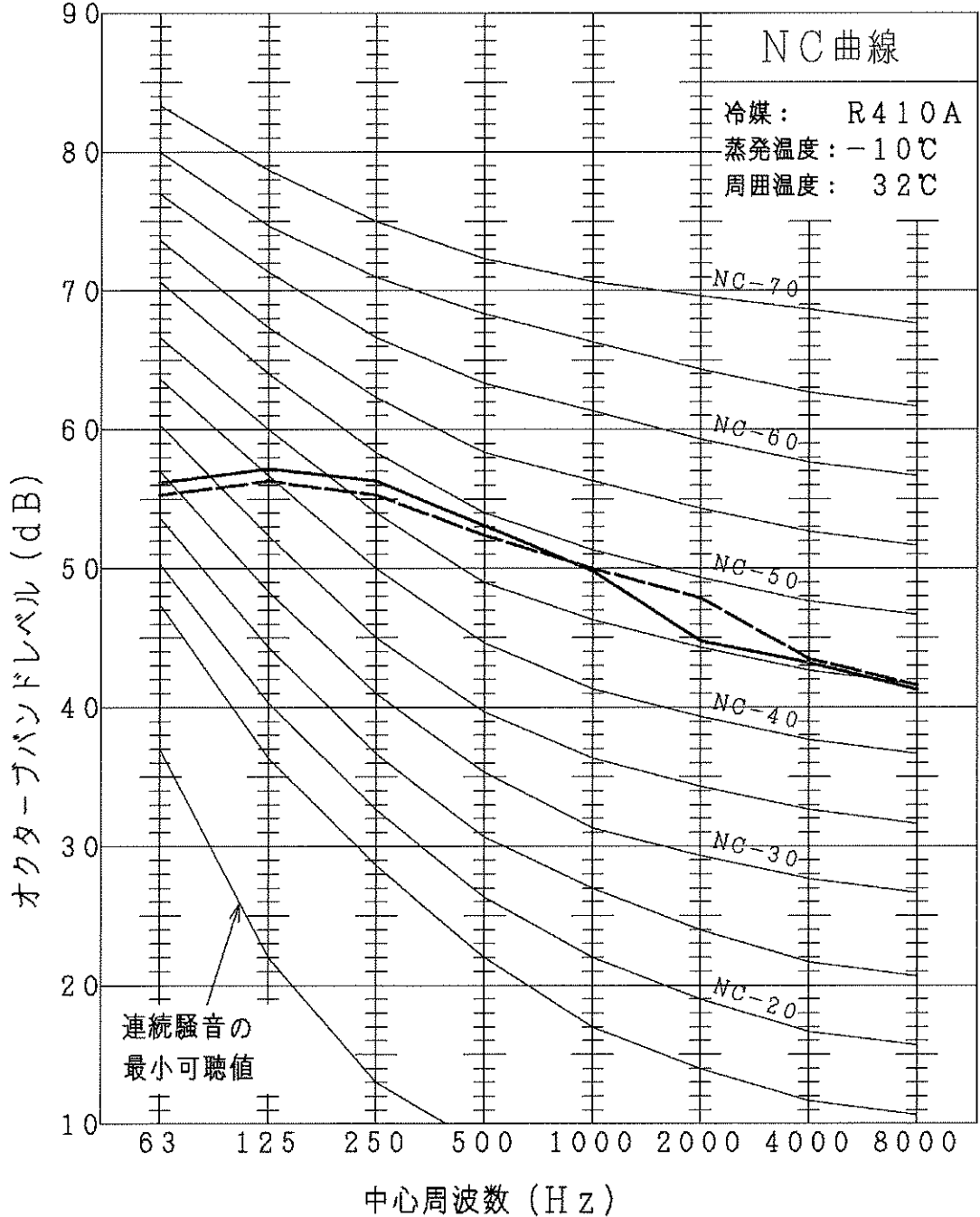
317R119108

型式：KX-NM20AMVP

測定点：正面 1m, 高さ 1m

騒音値：55dB
(Aスケール) (50/60Hz)

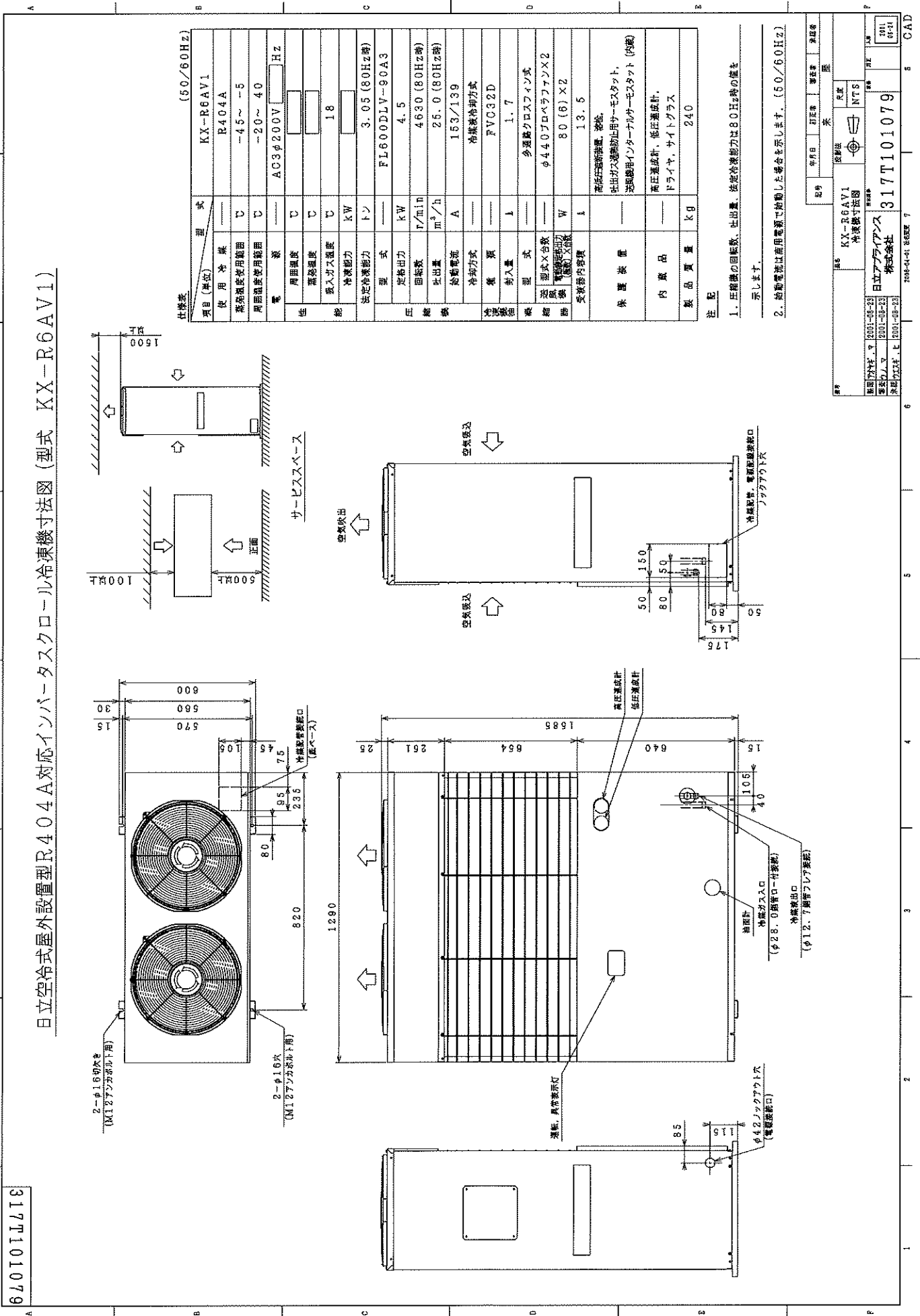
電源周波数：—— 50Hz —— 60Hz



- 注) 1. 騒音値は無響室内にて測定したものであり、実際の据付状態では周囲の騒音や反響などの影響を受け本図より高くなりますので、据付に当たっては据付場所の環境に十分ご注意ください。
2. ファン特性は低騒音モード、インバーター圧縮機運転周波数70Hzの場合を示します。

製図	オヤマ, サ	2009-07-31	品名	KX-NM20AMVP 騒音周波数分析	日立アプライアンス 株式会社	清水図番	317R119108	入庫
審査	オヤマ, サ	2009-07-31	2009 08-03					
承認	ウ, マ	2009-07-31						

日立空冷式屋外設置型R404A対応インバータスクロール冷凍機寸法図 (型式 KX-R6AV1)



仕様表 (50/60Hz)	
項目 (単位)	型式
使用冷媒	KX-R6AV1
最高運転圧力範囲	R404A
周囲温度使用範囲	-45 ~ -5
周囲温度使用範囲	-20 ~ 40
電源	AC3φ200V <input type="text"/> Hz
周囲温度	<input type="text"/>
蒸発温度	<input type="text"/>
吸入ガス温度	1.8
冷凍能力	<input type="text"/>
法定冷凍能力	3.05 (80Hz時)
型式	FL600DLV-90A3
定格出力	4.5
回転数	4630 (80Hz時)
吐出量	25.0 (80Hz時)
励磁電流	153/139
冷却方式	冷凍液冷却方式
種類	FV032D
吸入量	1.7
型式	多速スクロールフィン式
送風機	φ440プロペラファン×2
送風機	80 (6) × 2
受容器内容積	13.5
保護装置	高圧圧断装置、油検、吐出ガス過熱防止サーモスタット、送風機用インターナルサーモスタット (内蔵)
内蔵品	高圧差成計、低圧差成計、ドライヤ、サイトラス
製品質量	240

注記
 1. 圧縮機の回転数、吐出量、法定冷凍能力は80Hz時の値を示します。
 2. 始動電流は商用電源で始動した場合を示します。(50/60Hz)

日立製作所
 2001-08-23
 2001-08-23
 2001-08-23

図名 KX-R6AV1
 冷凍機寸法図

図番 NTS

図号 317T101079

株式会社 日立製作所

2008-04-01 8:58:27 5 CAD

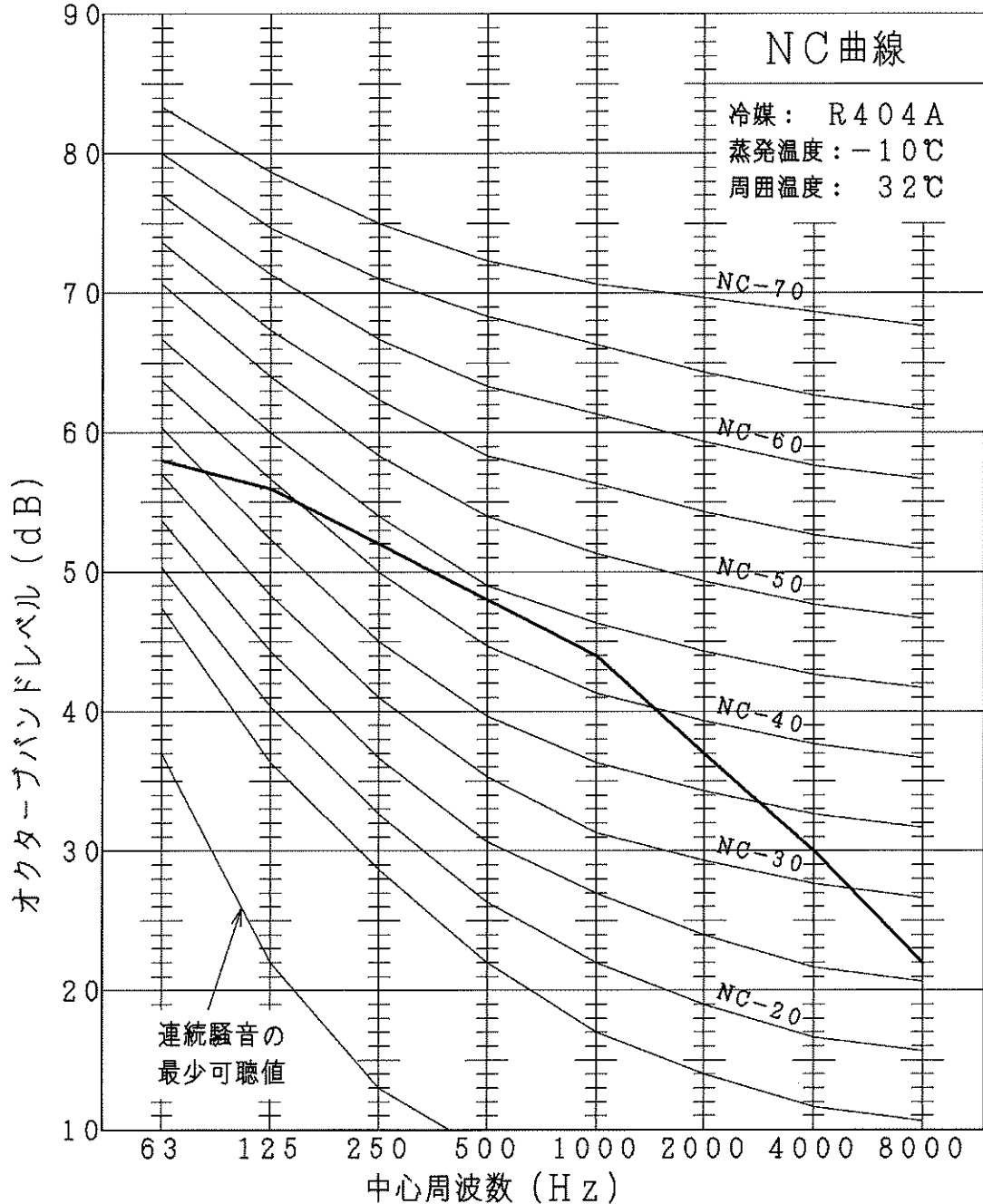
0699018718

型式 KX-R6AV1

測定点：正面 1m, 高さ 上端面より 1m

騒音値：50/50dB
(Aスケール) (50/60Hz)

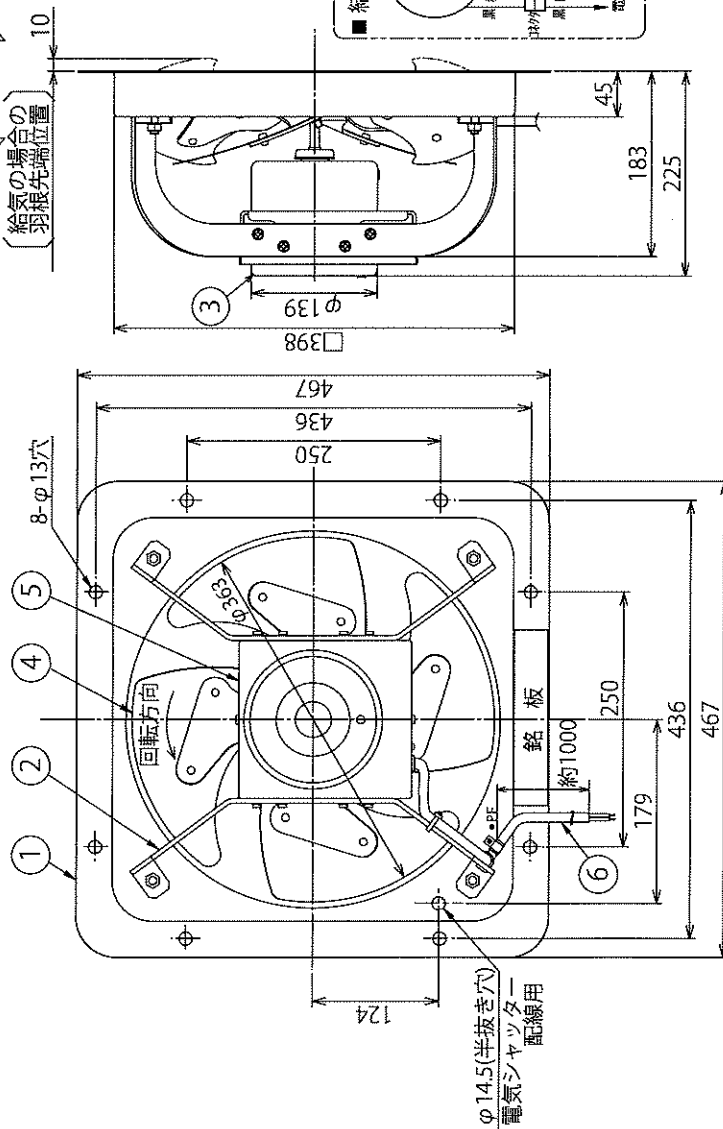
電源周波数：50/60Hz, 運転周波数 — 60Hz



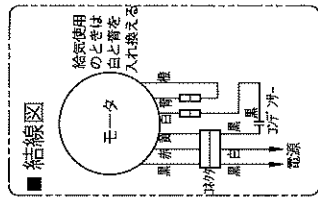
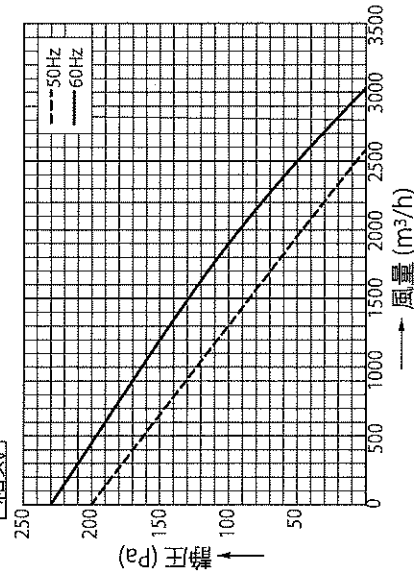
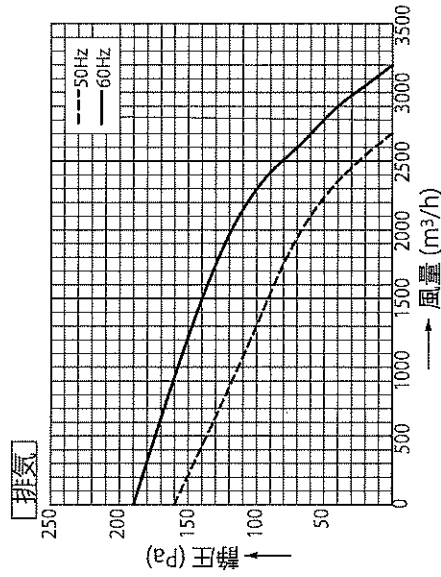
注) 騒音値は無響室内にて測定したものであり、実際の据付状態では周囲の騒音や反響などの影響を受け本図より高くなりますので、据付に当たっては据付場所の環境に十分ご注意願います。

製図	アオヤギ, マ	2004-01-07	品名	騒音周波数分析	日立アプライアンス 株式会社	清水図番 317R105690	入庫 2004 01-08
審査	ウノ, マ	2004-01-07					
承認	カトウギ, ケ	2004-01-08					

東芝換気扇 (有圧換気扇) 低騒音タイプ (給気運転可能)



■ 静圧——風量特性



■ 特性表 ◎モーター結線を入れ替え羽根を逆に取付けることにより給気にもなります。

形名	方式	公称羽根径 (cm)	極数	公称出力 (W)	定格電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	電流 (A)	電流 (A)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)	最大負荷電流 (A)	起動電流 (A)	質量 (kg)
VP-354SNXB	排気式(給気式)	35	4	150	100	50	103	1.18	2700	50	50	1.8	6.6	13
							151	1.53	3200	55.5	2.9	6.1		
							107	1.21	2580	54	2.1	6.6		
	給気	35	4	160	100	60	162	1.62	3030	59.5	3.5	6.1		

使用周囲条件	温度 -30°C~+50°C 相対湿度 90%以下(常温)
電動機形式	4極コンデンサ誘導電動機
絶縁抵抗	10MΩ以上(500V×2方→)
耐電圧	AC1000V 1分間
絶縁区分	E種

※騒音、消費電力、電流の値は、静圧0Paにおける値です。
 ※風量測定はJIS C9603 チャンバー方式によるものです。
 ※騒音は、正面と側面に1.5m離れた地点3点を無響室にて測定した平均値です。
 ●本仕様は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

東芝キヤリア株式会社		形名	VP-354SNXB
作成年月日	H.19.4.1	図面番号	AV004336